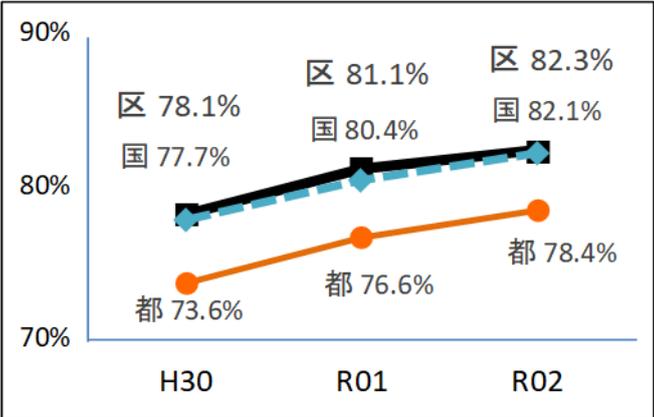


地域保健福祉推進協議会

令和 3 年度 第 2 回健康あだち 2 1 専門部会報告資料

令和 4 年 1 月書面開催

件 名	令和 2 年度ジェネリック医薬品使用率について																
所管部課	衛生部データヘルス推進課																
内 容	<p>1 足立区ジェネリック医薬品使用率 <u>82.3%</u> (令和 3 年 3 月) 2 3 区で第 2 位 (第 1 位は江戸川区で 82.5%) ※ 8 月 3 0 日 厚生労働省発表「最近の調剤医療費 (電算処理分) の動向」 ※ 自治体内に所在する薬局のデータを集計</p> <p>2 使用率の推移</p>  <table border="1" data-bbox="475 1034 1129 1451"> <caption>ジェネリック医薬品使用率の推移 (推定)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 (%)</th> <th>国 (%)</th> <th>都 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>78.1%</td> <td>77.7%</td> <td>73.6%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>81.1%</td> <td>80.4%</td> <td>76.6%</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>82.3%</td> <td>82.1%</td> <td>78.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 保険別の使用率 (令和 3 年 3 月)</p> <p>(1) 国民健康保険 78.3% (77.2%) (2) 生活保護医療扶助 88.3% (83.5%) (3) 後期高齢者医療制度 78.0% (76.8%) ※ 括弧内は令和元年度の使用率 ※ 各制度が保有するレセプト情報を集計</p> <p>4 削減効果額の推計 (令和 2 年度)</p> <p>(1) 国民健康保険 約 1 3 億 2, 9 1 3 万円 ・ 区 (7 割負担) 約 9 億 3, 0 3 9 万円 ・ 区民 (3 割負担) 約 3 億 9, 8 7 4 万円</p>	年度	区 (%)	国 (%)	都 (%)	H30	78.1%	77.7%	73.6%	R01	81.1%	80.4%	76.6%	R02	82.3%	82.1%	78.4%
年度	区 (%)	国 (%)	都 (%)														
H30	78.1%	77.7%	73.6%														
R01	81.1%	80.4%	76.6%														
R02	82.3%	82.1%	78.4%														

(2) 生活保護医療扶助

約9億5,973万円

※ 使用されたジェネリック医薬品がすべて先発医薬品だった場合の金額との差を推計

5 ジェネリック医薬品普及啓発の取組み

(1) ジェネリック医薬品利用差額通知の送付

(2) ジェネリック医薬品希望シール・パンフレット等の配布

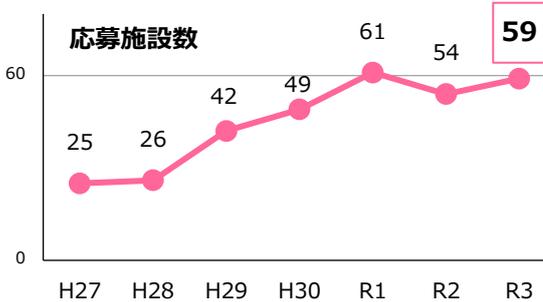
(3) 国保だより、足立区ホームページ、区内薬局等での利用促進PR

(4) 更なる使用率の向上に向けて、足立区薬剤師会と協議

地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和4年1月書面開催

件名	令和3年度「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施について												
所管部課	衛生部データヘルス推進課												
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン・歯科口腔保健対策編」の取組みの一環として、「あだちっ子歯科健診（4～6歳）」や「6歳臼歯の育成」「歯みがきや規則正しい食習慣づくり」等に積極的に取組む幼稚園・保育園（所）を募集・表彰するとともに、優れた取組みの紹介を行った（平成27年度開始）。</p> <p>1 応募園数 <u>59園</u>（2年度54園） 【内訳】 私立幼稚園（6）、区立保育園・認定こども園（25）、公設民営園（4）、私立保育園（22）、認証保育所（2）</p>   <p>令和3年度ステッカー</p> <p>2 審査結果 ※別紙リーフレット参照</p> <table border="1" data-bbox="454 1467 1404 1982"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>園名</th> <th>主な取り組み内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区長賞</td> <td>栗原つくし保育園</td> <td>要治療児に受診応援カード、外国人には外国語版のお知らせを配布し、治療に繋いだ。「むし歯と食べ物〇×クイズ」や「2週間歯みがきチャレンジ」などの取組みを実施。</td> </tr> <tr> <td>教育長賞</td> <td>花畑桑袋保育園</td> <td>園独自の生活カレンダーで、朝歯みがき・朝うんちが定着。4、5歳児に定期的に染め出しを実施し、歯みがきが上達している。</td> </tr> <tr> <td>足立区歯科医師会長賞</td> <td>西新井幼稚園</td> <td>【年少】清潔習慣カード、【年中】口の中の絵画と歯ブラシ製作、【年長】いい歯カレンダー製作、と年齢別に家庭と連携した取組みを実施。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【優秀賞】 13園 【優秀賞（幼稚園）】 1園 【名人認定】 1園 【奨励賞】 41園</p>	賞	園名	主な取り組み内容	区長賞	栗原つくし保育園	要治療児に受診応援カード、外国人には外国語版のお知らせを配布し、治療に繋いだ。「むし歯と食べ物〇×クイズ」や「2週間歯みがきチャレンジ」などの取組みを実施。	教育長賞	花畑桑袋保育園	園独自の生活カレンダーで、朝歯みがき・朝うんちが定着。4、5歳児に定期的に染め出しを実施し、歯みがきが上達している。	足立区歯科医師会長賞	西新井幼稚園	【年少】清潔習慣カード、【年中】口の中の絵画と歯ブラシ製作、【年長】いい歯カレンダー製作、と年齢別に家庭と連携した取組みを実施。
賞	園名	主な取り組み内容											
区長賞	栗原つくし保育園	要治療児に受診応援カード、外国人には外国語版のお知らせを配布し、治療に繋いだ。「むし歯と食べ物〇×クイズ」や「2週間歯みがきチャレンジ」などの取組みを実施。											
教育長賞	花畑桑袋保育園	園独自の生活カレンダーで、朝歯みがき・朝うんちが定着。4、5歳児に定期的に染め出しを実施し、歯みがきが上達している。											
足立区歯科医師会長賞	西新井幼稚園	【年少】清潔習慣カード、【年中】口の中の絵画と歯ブラシ製作、【年長】いい歯カレンダー製作、と年齢別に家庭と連携した取組みを実施。											

3 表彰式

新型コロナウイルス感染拡大防止により、表彰式は執り行わず、賞状・記念品・ステッカー・園児用シール等を郵送にて贈呈した。

4 表彰園の紹介

区公式ホームページ、リーフレットの配布（全保育施設・幼稚園・こども園・小学校、歯科医師会等）、パネル展示等で紹介

5 実施主体

足立区・足立区教育委員会・公益社団法人東京都足立区歯科医師会共催

地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和4年1月書面開催

件名	永久歯フッ化物塗布事業（モデル事業）実施報告について																												
所管部課	衛生部データヘルス推進課																												
内容	<p>6歳臼歯(永久歯)※1の健全な育成を目指し、小学校(モデル校9校)、足立区歯科医師会、足立区学校歯科医会と連携・協力のもと、平成29年度～令和元年度に実施した「永久歯フッ化物塗布※2事業(モデル事業)」について、以下のとおり報告する。</p> <p>※1 6歳臼歯は、かみ合わせの要となる重要な永久歯であるが、生え始めの時期にむし歯になりやすく、成人期に喪失する割合が最も高い。</p> <p>※2 フッ化物は、歯の質を強くし、歯の再石灰化を促す効果がある。塗布法のほか、歯みがき剤の配合、洗口法がある。</p> <p>1 事業目的 小学校(モデル校)、歯科医師会、学校歯科医会の協力を得て、6歳臼歯にフッ化物塗布を実施し、むし歯予防策の評価・検討を行う。</p> <p>2 実施年度および対象者（学校健診毎に決定） 平成29年度～令和元年度にモデル校(9校)に在籍する小学1、2年生で、定期学校歯科健康診断時に、以下2点を満たした児童（学校歯科医の指示のもと、歯科衛生士が塗布を行う） (1) 保護者の希望がある。 (2) 6歳臼歯に未処置のむし歯がない（処置済みの歯は対象）。</p> <p>3 実施回数およびスケジュール（下記表1参照） (1) 29年度小学2年生 1回（小2秋） (2) 29年度小学1年生 3回（小1秋～小2秋） (3) 30年度小学1年生 4回（小1春～小2秋）</p> <p>（表1）実施スケジュール ※実施した学年に○</p> <table border="1" data-bbox="379 1720 1401 2011"> <thead> <tr> <th>事業回数 (実施時期)</th> <th>1回目 H29 年秋</th> <th>2回目 H30 年春</th> <th>3回目 H30 年秋</th> <th>4回目 H31 年春</th> <th>5回目 R1 年秋</th> <th>最終評価 R2 年秋※3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29 年度 小2</td> <td>○</td> <td>歯科健診 (評価)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H29 年度 小1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>歯科健診 (評価)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H30 年度 小1</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ アンケート</td> <td>歯科健診 (評価)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和2年度の学校健診は約5～7か月後倒しとなった。</p>	事業回数 (実施時期)	1回目 H29 年秋	2回目 H30 年春	3回目 H30 年秋	4回目 H31 年春	5回目 R1 年秋	最終評価 R2 年秋※3	H29 年度 小2	○	歯科健診 (評価)	—	—	—	—	H29 年度 小1	○	○	○	歯科健診 (評価)	—	—	H30 年度 小1	—	○	○	○	○ アンケート	歯科健診 (評価)
事業回数 (実施時期)	1回目 H29 年秋	2回目 H30 年春	3回目 H30 年秋	4回目 H31 年春	5回目 R1 年秋	最終評価 R2 年秋※3																							
H29 年度 小2	○	歯科健診 (評価)	—	—	—	—																							
H29 年度 小1	○	○	○	歯科健診 (評価)	—	—																							
H30 年度 小1	—	○	○	○	○ アンケート	歯科健診 (評価)																							

4 主な結果【小学3年生時の学校歯科健診結果にて評価を実施】

3か年で、1,645人(実人員)に3,697回(延べ)塗布を行い、小学3年生時点の6歳臼歯のむし歯の状況について評価を行った。

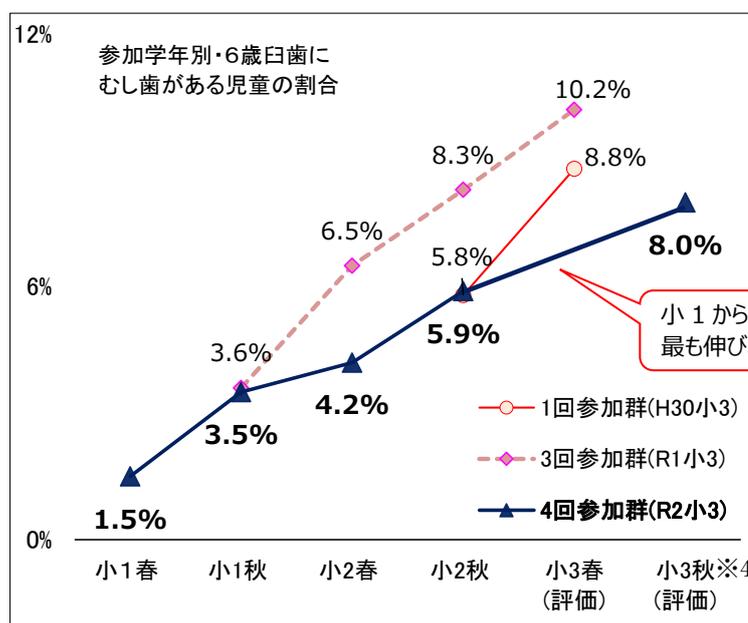
(1) 令和2年度小学3年生の「6歳臼歯にむし歯がある割合」は、モデル校9校が8.0%、それ以外の60校は9.3%と、フッ化物塗布事業参加校が1.3ポイント低かった。

(表2) 6歳臼歯にむし歯がある小学3年生の割合

	事業実施前(H29)	事業実施後(R2)
モデル校(9校)	10.0%	8.0%
モデル校以外(60校)	10.3%	9.3%

(2) モデル校9校の参加学年別比較では、小1春から4回参加した学年が、3回参加学年(小1秋開始)・1回参加学年(小2秋実施)より、「6歳臼歯にむし歯がある児童の割合」が低かった。

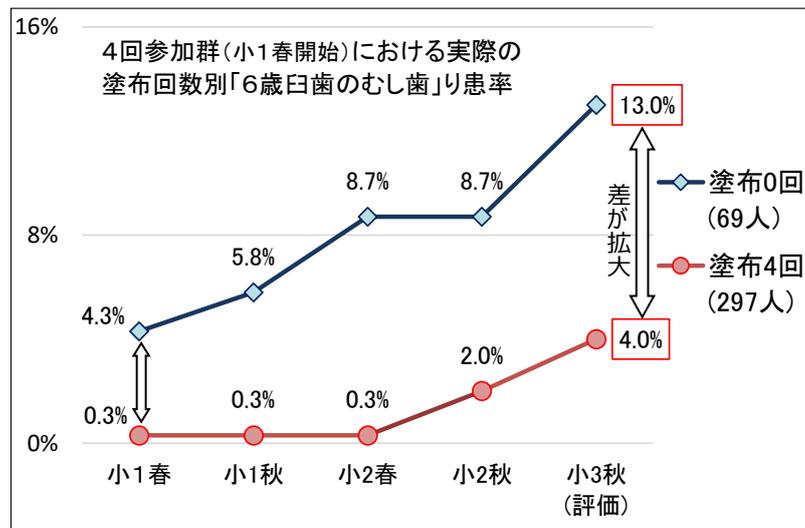
(図1) 6歳臼歯にむし歯がある児童の割合(小1~小3の比較)



※4 R2は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、学校健診が秋に実施された。

(3) 小1春から4回参加した学年を、実際に塗布を行った回数別に比較すると、4回塗布した児童(297名)が4.0%と最もむし歯り患率が低く、塗布0回の児童(69名)の13.0%を9.0ポイント下回っている。

(図 2) 塗布回数別の 6 歳臼歯のむし歯り患率



5 主な課題

- (1) フッ化物塗布を希望する保護者の割合は、回数を追うごとに上昇したものの、5回平均で77.1%と、約2割は希望しなかった。また、希望しない理由は「歯科医院で塗布している」が多かった。

(表 3) 塗布希望率および塗布を希望しない理由

年度	在籍児童数(延べ)	塗布希望率	希望しない理由※30年度から
29年度 (小1、小2)	1, 394名	68.4%	調査なし
30年度 (小1、小2)	2, 651名	79.3%	歯科医院で塗布している 77.5% 効果がわからない 3.8%
元年度 (小2)	1, 365名	81.5%	歯科医院で塗布している 82.7% 効果がわからない 2.8%
合計	5, 410名	77.1%	

6 今後の方針

今回のモデル事業では、フッ化物塗布に一定のむし歯予防効果が得られた。一方、授業時間の調整や希望調査票の配付・回収等、学校側の尽力にも関わらず、塗布を希望しない保護者が約2割と高く、全校展開には課題が残った。今後は、以下について検討していく。

- (1) 就学前からの「フッ化物塗布」活用について検討する。

「フッ化物塗布」は、生え始めの歯に効果が高いため、幼児期の歯科健診等、就学前からの活用について検討していく。

- (2) 小学1年生対象に実施している「6歳臼歯健康教室」の充実を図る。

保護者の希望によらず全員参加可能な「6歳臼歯健康教室」において、「フッ化物入り歯みがき剤」の啓発を強化していく。

地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和4年1月書面開催

件名	令和3年度6月食育月間の取り組み結果について																		
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課 広報室シティプロモーション課 産業経済部産業振興課 学校運営部学務課 子ども家庭部子ども施設指導・支援担当課																		
内容	<p>6月は国の定める食育月間である。区では新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今年度は、「ちょい増し野菜」～野菜を食べてコロナに負けない体をつくろう！～」をテーマに啓発を行った。</p> <p>1 主な事業</p> <p>(1) ベジタベライフ協力店特別企画 「世界の野菜料理を食べよう～おうちで旅行気分を味わおう～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テイクアウトで野菜が食べられるメニューの提供 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施店舗数</th> <th>合計提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39店舗 (25店舗)</td> <td>4,425食 (3,147食)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 括弧内は令和2年度糖尿病月間における実績</p> <p>(2) 「自分で作ろう！ベジ映えフォト」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クックパッド「東京あだち食堂」に掲載されているレシピ（約430品）の中から、好きな野菜料理を作り、写真を応募してもらう企画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>応募数</th> <th>131件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) プレゼント企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベジタベライフ協力店特別企画で「テイクアウトメニュー」を購入した方や「自分で作ろう！ベジ映えフォト」に応募した方に抽選で景品をプレゼント (応募者アンケートの結果は別紙4-1参照) <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画内容</th> <th>応募数</th> <th>当選者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベジタベライフ協力店特別企画</td> <td>522件 (265件)</td> <td rowspan="3">60名</td> </tr> <tr> <td>ベジ映えフォト</td> <td>131件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>653件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 括弧内は令和2年度糖尿病月間における実績</p>	実施店舗数	合計提供数	39店舗 (25店舗)	4,425食 (3,147食)	応募数	131件			企画内容	応募数	当選者数	ベジタベライフ協力店特別企画	522件 (265件)	60名	ベジ映えフォト	131件	合計	653件
実施店舗数	合計提供数																		
39店舗 (25店舗)	4,425食 (3,147食)																		
応募数	131件																		
企画内容	応募数	当選者数																	
ベジタベライフ協力店特別企画	522件 (265件)	60名																	
ベジ映えフォト	131件																		
合計	653件																		

プレゼントの内訳

- ① 野菜の詰合せ（北足立市場協会協力） …………… 10名
- ② 野菜を美味しく食べられる食品セット …………… 20名
- ③ ベジタベグッズ（マグカップ、エコバッグ等） …… 30名

(4) 区内青果店（北足立市場協会）及びJ A東京スマイルとの連携

- ① ベジタベライフ協力店に登録している青果店33店舗で、野菜を購入した方を対象にベジタベエコバッグ及び野菜レシピをプレゼント

各店舗先着25名 計825枚

- ② 「あだち菜の郷」及び農産物直売所でのぼり旗の設置、野菜レシピの配付等

直売所12か所

(5) おいしい給食事業における「ひと口目は野菜から」の強化

- ① もりもり給食ウィークや給食だより等での情報発信
- ② 区立・私立保育園全園、希望のあった幼稚園での小松菜栽培及び調理体験等

小松菜の種197園に配付

- ③ 区立・私立保育園全園、希望のあった幼稚園を対象に、「おうちでひと口目は野菜からチャレンジシート」を活用した家庭への啓発

チャレンジシート192園で実施

(6) 企業との連携

- ① セブン&アイグループ（イトーヨーカ堂、セブーン・イレブン・ジャパン、ヨーク、デニーズ）、北千住マルイ、ルミネ北千住店、無印良品、すかいらーくグループ、日高屋等にのぼり旗及びポップ等の設置

協力企業11社

- ② 足立成和信用金庫、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社でリーフレットを配付

リーフレット配付 計3,430枚

2 区民への周知

(1) あだち広報5/25号

(2) リーフレット配布（6万7千部）及びポスター掲示（1,500枚）

あだちベジタベライフ協力店、地域学習センター、区立・私立保育園、

- 幼稚園、区立小学校、元気な職場づくり応援事業所等
- (3) 区役所1階アトリウムでのパネル展示
 - (4) A-メール、区ホームページ、Facebook、ビュー坊テレビで動画等を活用して啓発
 - ① A-メール 11回
 - ② Facebook、Twitter 計125回
 - (5) 懸垂幕（本庁舎、北千住マルイ）、横断幕（本庁舎）

3 今後の方針

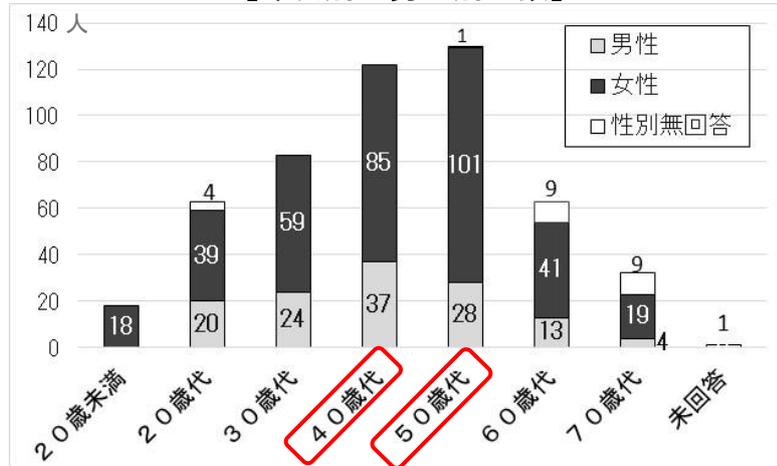
働き世代を対象に、11月の糖尿病月間や元気な職場づくり応援事業（健康経営）等を通じて、糖尿病リスクのチェック、野菜摂取量の測定、体組成測定等を実施し、野菜摂取を増やす等の行動変容につながる啓発を行う。

令和3年度 6月食育月間応募者アンケートの結果

1 ベジタベライフ協力店特別企画における応募者アンケート結果【回答数：522件】

(1) 応募者の年代は、40歳代、50歳代の働き世代が多かった。

【年代別・男女別人数】

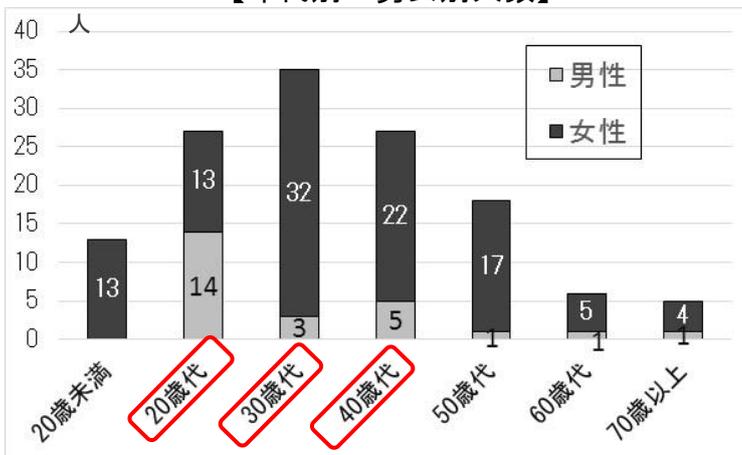


2 「ベジ映えフォト」応募者アンケート結果【回答数：131件】

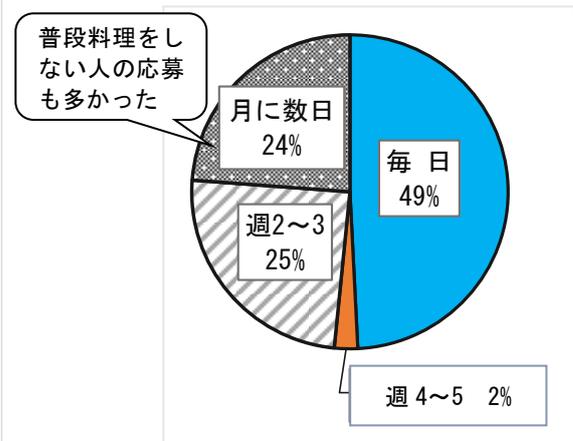
(1) 応募者の年代は、30歳代が最も多く、次いで20歳代、40歳代であった。

普段料理を作る頻度は、「毎日」が最も多く、次いで「週2～3回」、「月に数日」であった。

【年代別・男女別人数】

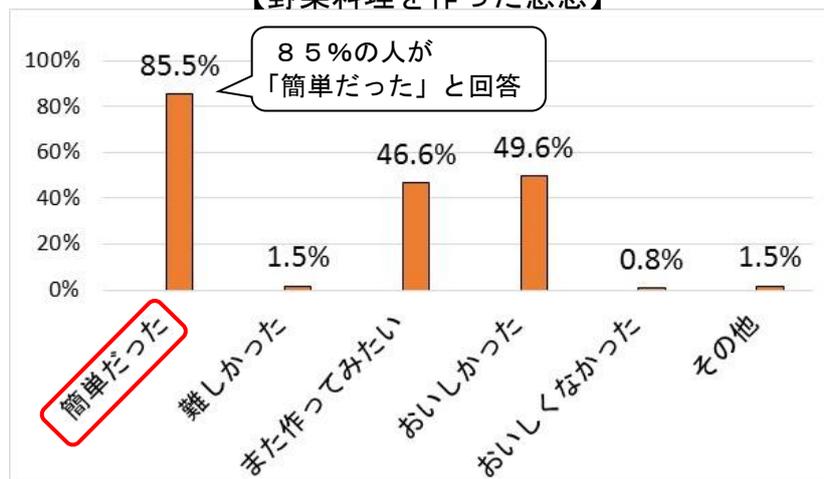


【普段料理を作る頻度】



(2) 作った感想は、「簡単だった」が最も多く、次いで「おいしかった」「また作ってみたい」であった。

【野菜料理を作った感想】

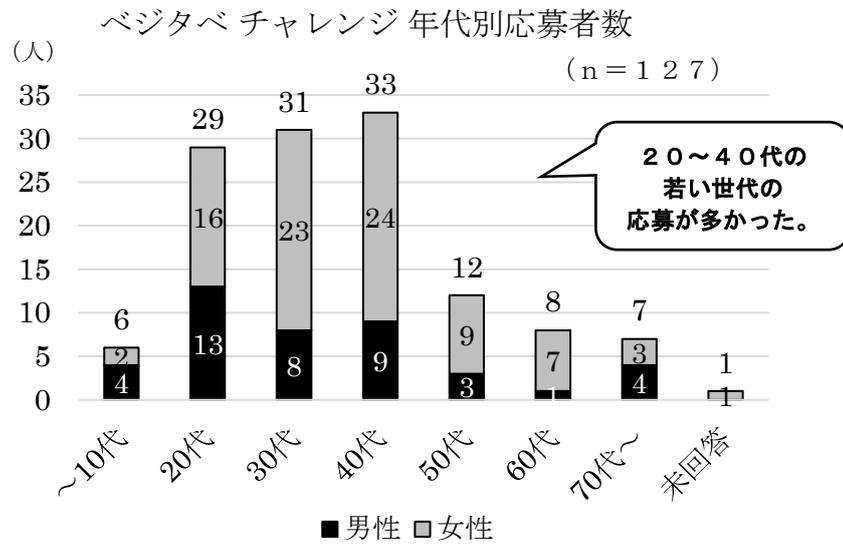


地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和4年1月書面開催

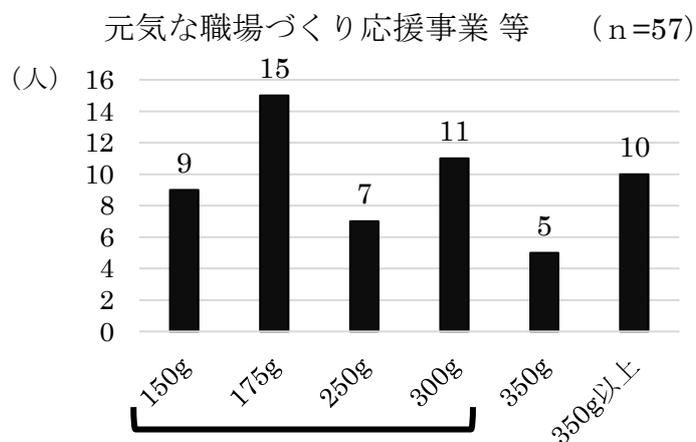
件 名	令和3年度糖尿病月間の取組結果について				
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課				
内 容	<p>11月14日（日）の「世界糖尿病デー」に合わせて実施した糖尿病月間の取組結果を報告する。</p> <p>今年度は、主な対象を20～50歳代の男性とし、自分のカラダの状態や糖尿病リスクについての「気づき」から健康行動につなげることを目的に、糖尿病の予防啓発を実施した。</p> <p>1 テーマ 若いからって油断大敵！</p> <p>2 主な事業 (1) 応募企画「ベジタベ チャレンジ」 野菜をちょい増した食事の写真と、普段より気をつけたことを記載し、区ホームページの専用フォームから応募してもらう企画。応募者には、抽選で景品をプレゼント。</p> <table border="1" data-bbox="491 1346 1193 1447"> <tr> <td>応募者数</td> <td>127名（131名）</td> </tr> <tr> <td>当選者数</td> <td>8名</td> </tr> </table> <p>※括弧内は、6月の食育月間で実施した、好きな野菜料理を作り、写真を応募してもらう企画の応募者数</p> <p><プレゼント内訳></p> <p>① 体組成計……………2名 ② 一人鍋セット……………3名 ③ パルスオキシメーター…3名 計8名</p>	応募者数	127名（131名）	当選者数	8名
応募者数	127名（131名）				
当選者数	8名				



(2) 元気な職場づくり応援事業等におけるベジチェック（推定野菜摂取量の測定）

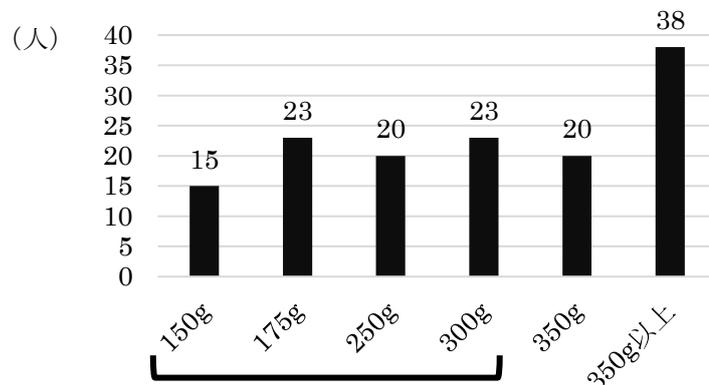
元気な職場づくり応援事業、40歳前の健康づくり健診等において、手の平をセンサーにかざし、推定野菜摂取量を6段階で測定できるベジチェックを実施。

	合計	内訳	
		元気な職場づくり 応援事業等	40歳前の健康 づくり健診等
ベジチェック 測定者数	196名	57名	139名



推定野菜摂取量が
350g未満の者の割合 **74%**

40歳前の健康づくり健診等 (n=139)



推定野菜摂取量が
350g未滿の者の割合 **58%**

40歳前の健康づくり健診を自ら申し込んだ方でも、約6割が1日に必要な野菜摂取量(350g)をとれていなかった。

<測定者の様子・感想>

- ① 体験前は興味津々で、ぜひやってみたいという反応が多かった。
- ② 野菜摂取量が足りていないのは、普段朝食を食べていないからだと気づいた。
- ③ 野菜が足りていないと思っていたが、改めて数字で見るとわかりやすい。

(3) 薬局でのヘモグロビンA1c測定

実施薬局数	測定者数
13薬局	11名(11名)

※ 括弧内は昨年度の実績

(4) スポーツ振興課、公園管理課との連携

リーフレットやA-メールで、スポーツ振興課主催の「ウォーキングチャレンジ」や、健康器具がある公園を紹介。

ウォーキングチャレンジの参加人数 1,141名

(令和3年12月6日時点)

3 区民への周知

(1) あだち広報10月25日号への記事掲載

(2) リーフレット配布(10,000部)及びポスター掲示(800枚)

<主な配布先>

元気な職場づくり応援事業認定事業所、保健センター等の区施設、ギャラクシティ、生物園、都市農業公園、医療機関、薬局、足立成和信用金庫、明治安田生命保険相互会社等

- (3) 区ホームページ、A-メール（スポーツ振興課、公園管理課の配信を含めて4回）、Facebook(4回)、Twitter（20回）で配信

4 今後の方針

ベジタベチャレンジは若い世代の応募が多かったが、比較的凝った料理の写真が多く、健康意識の高い人や女性の参加が目立った。また、ベジチェックの測定は、興味を持つ方が多く、測定後に日頃の食生活を振り返る意見が聞かれた。今後は、以下について検討していく。

- (1) 推定野菜摂取量を手軽に測定できるベジチェックの活用を拡大し、野菜摂取量が少ない若い世代や男性等、健康に対する関心が低い方に「気づき」を促していく。
- (2) 合わせて、健康に無関心であっても自ずと健康行動がとれるよう、コンビニ等と連携した食事の選び方の啓発等、日常的にヘルシーメニューが購入しやすい環境を整えていく。

地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和4年1月書面開催

件 名	小中学校における「おいしい給食」および「小児生活習慣病予防」の取り組みについて
所管部課	学校運営部学務課
内 容	<p>1 「おうちでもひと口目は野菜から」チャレンジシートの取り組みについて 家庭での野菜摂取啓発を目的とし、家庭においてひと口目に野菜を食べ、シートに色を塗ることに10日間チャレンジする取り組み。 これまで保育園、幼稚園で実施していた取り組みを就学後も継続するため、小学校1年生を対象に試行実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校全69校のうち46校で実施 (試行のため任意実施) ●保護者のコメント (アンケートから) <ul style="list-style-type: none"> ・家族みんなでチャレンジできました。 ・家でも野菜を食べる習慣がつかまりました。 ・苦手な野菜を頑張って食べていました。 ●記念品 (缶バッジ) </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p>2 「給食メニューコンクール」の実施結果について 子どもたちが、給食の献立作りのポイントを考慮しながらメニューを考えて料理をすることで、食の重要性や食べる意欲を高めることを目的に夏休み期間に作品募集を行い、優秀作品の受賞者を表彰した。</p> <p>(1) テーマ『わが家自慢の和食を給食に！』 オリンピック、パラリンピックの開催により、世界の国や文化、料理などを知るきっかけとなったが、改めて日本の文化である和食を見直してもらおうこととした。(中学生は給食1食分、小学生は1品の作品を募集。)</p> <p>(2) 応募総数 7, 214点 (内訳) 小学生 4, 222点 中学生 2, 992点</p> <p>【参考】令和2年度応募総数：4, 884点 (内訳) 小学生 2, 406点 中学生 2, 478点</p>

(3) 表彰式 (予定)

令和4年2月9日(水) 区役所本庁舎南館8階 特別応接室

3 小松菜一斉給食の実施について

J A東京スマイルより無償提供いただいた小松菜を使用し、小・中学校で一斉に工夫を凝らした献立で給食を提供した。

実施日

11月16日(火)、17日(水)、24日(水)

※各校いずれかの日で実施

4 貧血・小児生活習慣病予防健診について

- (1) 対象者：中学2年生および前年度要医療者、要経過観察者、ヘモグロビンA1c検査結果が正常値以上の中学生
- (2) 実施日：令和3年9月29日～11月4日に各学校で実施
- (3) 検査内容：肥満度、血清脂質、血圧測定、ヘモグロビンA1c
- (4) 健診結果

	要医療	経過観察	生活指導	管理不要	正常
男子	113	259	265	635	1,193
女子	80	239	470	545	895
全体	193	498	735	1,180	2,088

(5) 事後指導講演会・個別相談会

令和3年12月18日(土)、午後1時30分から3時30分

本庁舎12階会議室

	講演会	医師相談	栄養相談
参加者	中止	27	34

※ 講演会は、ワクチン接種会場などにより会場確保ができず中止とした

5 全小・中学校での歯みがきの実施について

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、歯みがき実施について積極的な勧奨はしていないが、今後も給食後の歯みがきを行っている学校の取り組み方法を全校に紹介していく。

地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21 専門部会情報連絡資料

令和4年1月書面開催

件 名	高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の無料化について																
所管部課	衛生部保健予防課																
内 容	<p>肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎の重症化や死亡リスクの低減に有効とされている。高齢者の健康を守るとともに、コロナ禍における医療機関の負担軽減を図るため、令和3年度に開始された東京都の補助（現在のところ令和5年度までの予定）に合わせ区も助成し、接種費用の無料化を実施している。</p> <p>1 助成対象 以下（1）（2）とも、過去に23価肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方 （1）当該年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳となる方 （2）60歳～64歳で身体障害者手帳1級相当の内部疾患がある方</p> <p>2 接種費用 1回接種費用 8,409円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">令和3年9月30日まで</th> <th style="text-align: center;">令和3年10月1日から</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">区負担</td> <td style="text-align: center;">4,409円</td> <td style="text-align: center;">5,909円 (うち今回+1,500円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">都負担</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2,500円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自己負担</td> <td style="text-align: center;">4,000円</td> <td style="text-align: center;">0円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">8,409円</td> <td style="text-align: center;">8,409円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 東京都補助事業は令和3年度から令和5年度まで</p> <p>3 令和3年度の無料接種期間 令和3年10月1日～令和4年3月31日</p> <p>4 無料化実施期間 当面、都の補助事業がある令和5年度までとする。</p>		区分	令和3年9月30日まで	令和3年10月1日から	区負担	4,409円	5,909円 (うち今回+1,500円)	都負担	—	2,500円	自己負担	4,000円	0円	合計	8,409円	8,409円
区分	令和3年9月30日まで	令和3年10月1日から															
区負担	4,409円	5,909円 (うち今回+1,500円)															
都負担	—	2,500円															
自己負担	4,000円	0円															
合計	8,409円	8,409円															

地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21 専門部会情報連絡資料

令和4年1月書面開催

件 名	足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について
所管部課	衛生部足立保健所感染症対策課
内 容	<p>世界的に流行する新型コロナウイルス感染症について、足立区においても令和3年7月以降第5波により患者が急増した。令和3年9月以降減少に転じ、国内の感染低位で落ち着いていたものの、オミクロン株の流行により、令和4年1月から感染者は増加に転じている。</p> <p>別紙のとおり、区内における患者の発生状況等について報告します。</p>

地域保健福祉推進協議会

令和3年度 第2回健康あだち21専門部会情報連絡資料

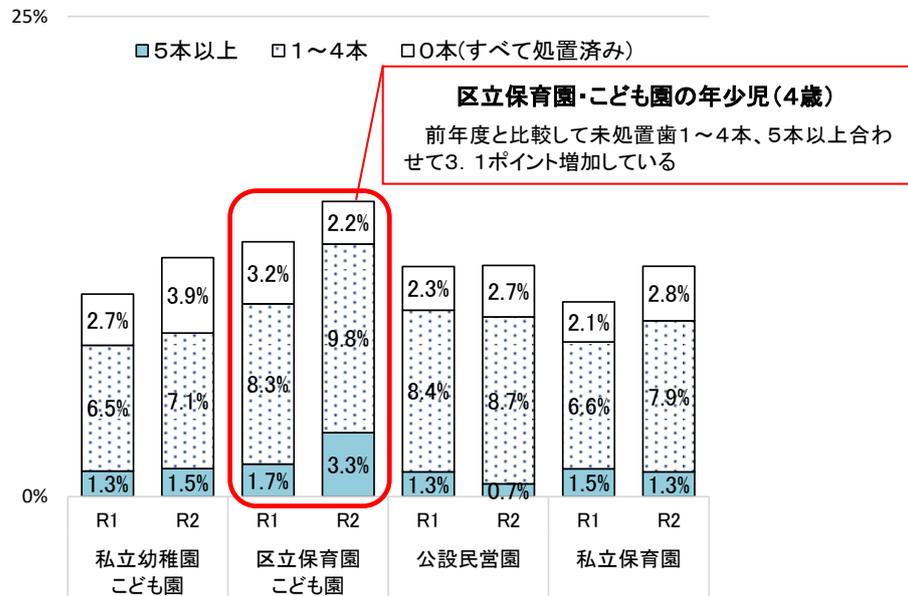
令和4年1月書面開催

件名	令和2年度あだちっ子歯科健診の実施結果について																												
所管部課	子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設運営課、私立保育園課、子ども施設入園課 衛生部 データヘルス推進課																												
内容	<p>平成27年度から実施している「あだちっ子歯科健診」について、令和2年度の実施結果がまとまったので報告する（詳細は資料9-1参照）。</p> <p>なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、約5か月後ろ倒しで実施した。</p> <p>1 実施結果から見える3つの課題と今後の対策</p> <p>【課題1】</p> <p>年少児（4歳）のむし歯のある子の割合が増加した（図1参照）。</p> <p>※ 27年度の開始以来、初めて増加となった。</p> <p>【図1】乳歯にむし歯がある子どもの割合 (むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む)</p> <table border="1"> <caption>図1: 乳歯にむし歯がある子どもの割合 (むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年長児 (6歳)</th> <th>年中児 (5歳)</th> <th>年少児 (4歳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>37.8%</td> <td>30.3%</td> <td>19.9%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>38.2%</td> <td>27.7%</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>36.1%</td> <td>26.2%</td> <td>14.8%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>33.1%</td> <td>21.9%</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>29.4%</td> <td>20.0%</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>29.3%</td> <td>19.7%</td> <td>12.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●対策</p> <p>ア むし歯の多い地域についてデータを分析していく。</p> <p>イ その結果を基に歯科衛生士がエリア施設連絡会等に参加し、地域の特徴等の情報を共有した上で、実効性のある取り組みを提案し、歯科指導を強化していく。</p>	年度	年長児 (6歳)	年中児 (5歳)	年少児 (4歳)	H27	37.8%	30.3%	19.9%	H28	38.2%	27.7%	16.7%	H29	36.1%	26.2%	14.8%	H30	33.1%	21.9%	12.0%	R1	29.4%	20.0%	10.9%	R2	29.3%	19.7%	12.7%
年度	年長児 (6歳)	年中児 (5歳)	年少児 (4歳)																										
H27	37.8%	30.3%	19.9%																										
H28	38.2%	27.7%	16.7%																										
H29	36.1%	26.2%	14.8%																										
H30	33.1%	21.9%	12.0%																										
R1	29.4%	20.0%	10.9%																										
R2	29.3%	19.7%	12.7%																										

【課題 2】

施設種別に年少児（4歳）を比較すると、区立保育園・こども園の増加率が高くなっている（図2参照）。

【図2】未処置のむし歯がある子どもの割合（施設種別）



●対策

ア むし歯の多い区立園を優先に歯科衛生士が保護者会に参加し、「歯によいおやつ」のリーフレットの配付や仕上げみがきの方法を指導するなど、乳児期からむし歯予防のための生活習慣を家庭へ啓発し、定着をめざしていく。

イ 保護者に対して、未処置歯の治療勧奨を積極的に行っていく。

ウ 飛沫防止のため中止していた年少児（4歳）からの給食後の歯みがきを全ての園で再開する。

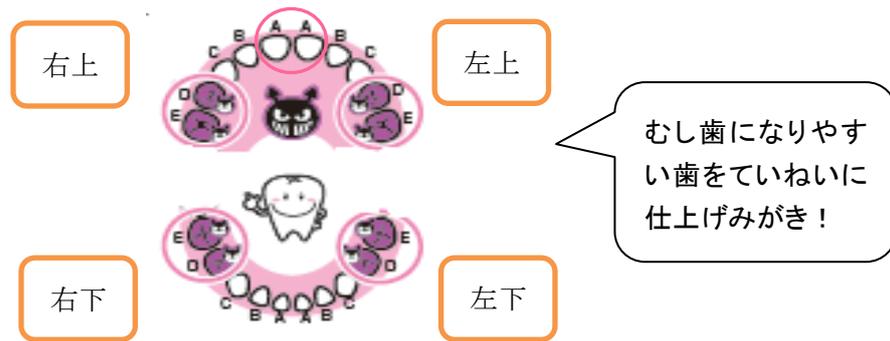
【課題 3】

年齢別で新たにむし歯になりやすい歯がわかった。令和2年度区立保育園・こども園の年少児（4歳）における歯科健診結果を元年度の結果とつなげて分析し、新たにむし歯になりやすい歯を特定した（表1参照）。

【表1】新たに増えたむし歯の部位

【同じ子どもの歯科健診結果をつなげて分析】

	2歳児→年少児 438名	年少児→年中児 535名	年中児→年長児 597名
1位	左上A(前歯)29名	左下D(奥歯)33名	右下・左下D(奥歯)48名
2位	右上A(前歯)28名	右下D(奥歯)32名	左上・左下E(奥歯)40名
3位	左下E(奥歯)17名	右下E(奥歯)27名	右上E(奥歯)39名



●対策

- ア むし歯になりやすい歯がわかったので、チラシ等で保護者に周知し、注意喚起を図っていく。
- イ 歯科衛生士がむし歯になりやすい歯の集中的な仕上げみがきの方法を保護者会等で指導し、実践につなげていく。

2 未通園児に関する課題と対策について

【課題】

- ア 個別通知用の封筒を、目立つようにピンク色へ変更するなど工夫したことで、受診者数が前年度比3ポイント増の17.3%となったが、受診率が低い状態であるので、引き続き取り組みの強化が必要である。
- イ データ分析により未通園児に「ひとり親」「外国籍」等の家庭が一定数いることがわかった。

●対策

- ア 昨年度未受診者へ複数回のハガキ等を郵送するなど、事前に受診勧奨を実施する。
- イ データでわかった未通園児の家庭状況に応じて、関係機関からの受診勧奨を依頼する。

6歳臼歯のむし歯予防対策！
永久歯フッ化物塗布事業（モデル事業）
実施報告書



足立区
令和3年11月

あだちっ子の「6歳臼歯」を守ろう！

区は、「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の取組みの一環として、6歳臼歯(第一大臼歯)の健全な育成をすすめています。

6歳臼歯は永久歯の中でも最も噛む力が強く、かみ合わせの要となる重要な歯ですが、「かみ合わせのみぞが深い」「歯ブラシが届きにくい」などの理由からむし歯になりやすく、成人期に喪失する割合が最も高い歯となっています。

そこで、平成29年度～令和元年度に、小学校(モデル校9校)、公益社団法人東京都足立区歯科医師会、足立区学校歯科医会、足立区・足立区教育委員会が連携・協力のもと、6歳臼歯が生え始める小学1、2年生を対象に「永久歯フッ化物塗布事業(モデル事業)」を実施し、初めて、児童に個別に関わる手法でむし歯予防に取り組みました。フッ化物を塗布した児童個々の3年間の結果をまとめましたのでご報告いたします。

モデル校教職員の皆様、学校歯科医の先生方におかれましては、ご理解ご協力いただき、ありがとうございました。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。

目次

I	永久歯フッ化物塗布事業(モデル事業)の概要	2
	(事業目的、実施年度・対象者、実施時期・実施校、事業の流れ、評価方法)	
II	実施結果	
1	希望調査書提出率、塗布希望率、塗布実施率	4
2	主な結果	4
3	主な課題	6
4	今後の方針	6
	ー 資料編 ー	
1	学校別実施結果一覧	7
2	塗布回数別「6歳臼歯にむし歯がある児童」の推移	10
3	令和元年度事後アンケート結果	11
4	役割分担および必要物品	13
5	各種帳票	15
	(保護者説明書、希望調査用紙、結果のお知らせ、事後アンケート)	

I 永久歯フッ化物塗布事業(モデル事業)の概要

1 事業目的

小学校(モデル校)、足立区歯科医師会、足立区学校歯科医会の協力を得て、6歳臼歯※1にフッ化物塗布※2を実施し、むし歯予防対策について、評価・検討します。

※1 6歳臼歯は、かみ合わせの要となる重要な永久歯であるが、生え始めの時期にむし歯になりやすく、成人期に喪失する割合が最も高い。

※2 フッ化物は、歯の質を強くし、歯の再石灰化を促す効果がある。塗布法のほか、歯みがき剤の配合、洗口法がある。

2 実施年度および対象者(学校健診毎に決定)

平成29年度～令和元年度にモデル校(9校)に在籍する小学1、2年生で、定期学校歯科健康診断時に、以下2点を満たした児童(学校歯科医の指示のもと、歯科衛生士が塗布を行います)。

- (1) 保護者の希望がある。
- (2) 6歳臼歯に未処置のむし歯がない(処置済みの歯は対象)。

3 実施時期(スケジュール)および実施校

(1) 実施時期(スケジュール) 下記表1参照

- ア 29年度小学2年生 1回(小2秋)
 イ 29年度小学1年生 3回(小1秋～小2秋)
 ウ 30年度小学1年生 4回(小1春～小2秋)

(表1) 実施回数および学年 ※○は実施学年

事業回数 (実施時期)	1回目 H29年秋	2回目 H30年春	3回目 H30年秋	4回目 H31年春	5回目 R1年秋	最終評価 R2年秋※3
ア 29年度小2	○	歯科健診 (評価)	—	—	—	—
イ 29年度小1	○	○	○	歯科健診 (評価)	—	—
ウ 30年度小1	—	○	○	○	○ アンケート	歯科健診 (評価)

※3 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和2年度の学校健診は約5～7カ月後倒しとなった。

(2) 小学校(モデル校9校)および担当保健センター

(表2)

No.	学校名	担当保健センター	No.	学校名	担当保健センター
1	栗原北小学校	中央本町地域・ 保健総合支援課	6	舎人小学校	竹の塚保健センター
2	弘道第一小学校		7	舎人第一小学校	
3	皿沼小学校	江北保健センター	8	花保小学校	東部保健センター
4	西新井第二小学校		9	六木小学校	
5	千寿常東小学校	千住保健センター			

I 永久歯フッ化物塗布事業(モデル事業)の概要

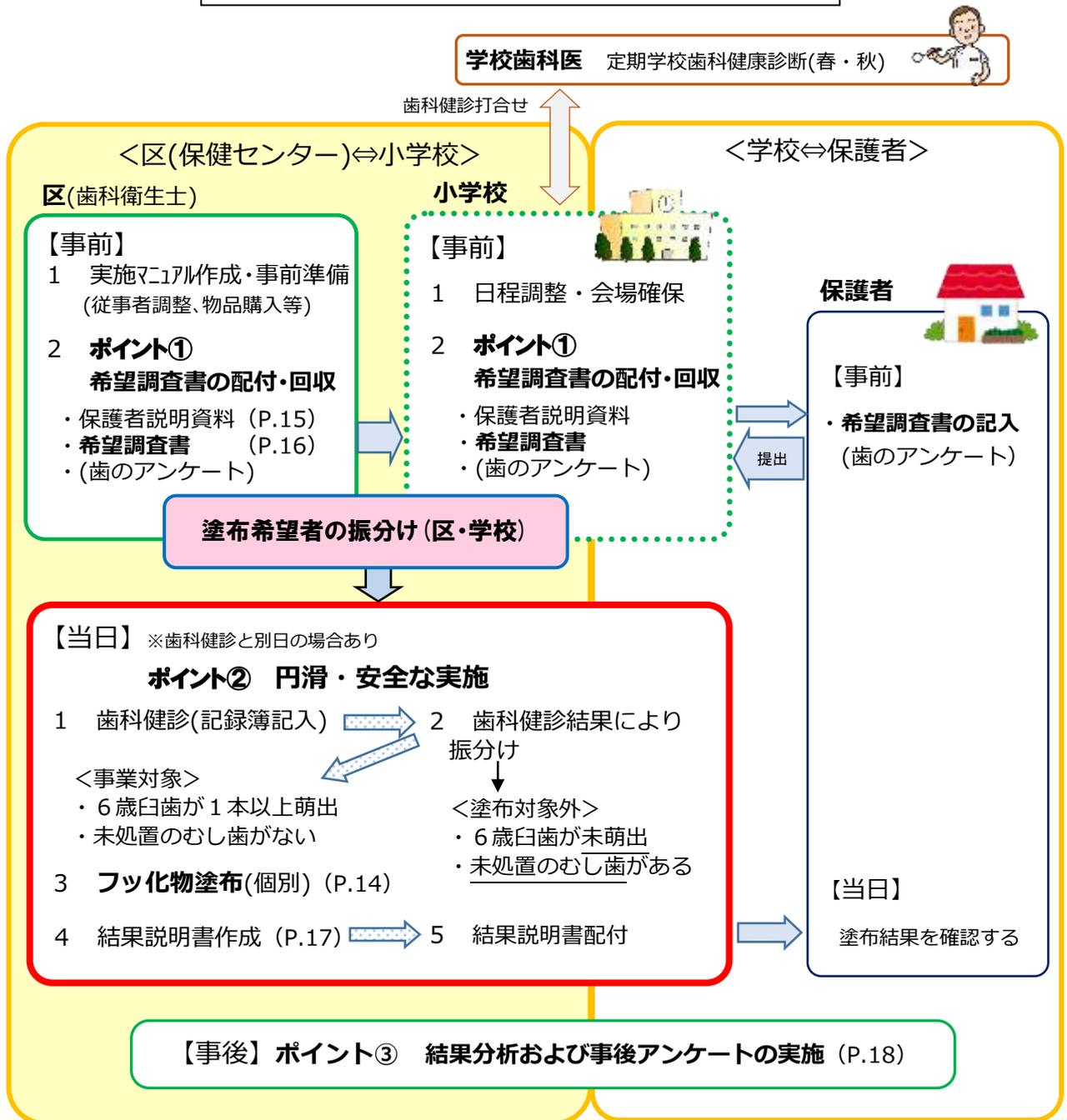
4 事業の流れ

「①保護者からの希望調査書(保護者の同意)の提出率向上」「②円滑・安全な塗布体制の構築」「③事業評価の実施」をポイントに、区と学校が事前打合せを入念に行い、実施しました。

《流れ図》

永久歯フッ化物塗布事業(モデル事業)

小1、小2
対象



5 評価方法

フッ化物塗布実施状況および学校健診結果(6歳臼歯のむし歯)、保護者・教職員・学校歯科医アンケート結果等を合わせて評価を行いました。

II 実施結果

1 希望調査書提出率および塗布希望率、塗布実施率

希望調査書提出率は99.3%と、各学校とも高い水準で回収いただきました。

フッ化物塗布を希望する保護者の割合は、5回平均で77.1%と、約2割は希望がありませんでした。希望しない理由は「歯科医院で塗布している」が多くなっています（理由等の詳細は、主な課題(2)P6）。

(表3)

年度	学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
			提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
平成 29年度	秋	1年生	652	641	98.3%	434	66.6%	373	57.2%
		2年生	742	735	99.1%	520	70.1%	483	65.1%
30年度	春	1年生	675	674	99.9%	540	80.0%	397	58.8%
		2年生	652	645	98.9%	513	78.7%	477	73.2%
	秋	1年生	673	670	99.6%	538	79.9%	453	67.3%
		2年生	651	647	99.4%	512	78.6%	480	73.7%
令和 元年度	春	2年生	681	677	99.4%	553	81.2%	510	74.9%
	秋		684	684	100%	560	81.9%	524	76.6%
5回合計(延べ人数)			5,410	5,373	99.3%	4,170	77.1%	3,697	68.3%

2 主な結果【小学3年生時の学校歯科健診結果にて評価を実施】

3か年で、1,645人(実人員)に3,697回(延べ)塗布を行い、小学3年生時点の「6歳臼歯のむし歯」の状況について評価しました。

【主な結果のまとめ】

- (1) 6歳臼歯にむし歯がある小学3年生の割合は、フッ化物塗布事業に参加した9校が8.0%、参加しない60校が9.3%と、参加校が1.3ポイント低い。
- (2) 参加した学年別の比較では、小1春から4回参加した学年の6歳臼歯にむし歯がある児童の割合が低い。
- (3) 小1春から4回参加した学年の6歳臼歯にむし歯がある児童の割合を、実際に塗布した回数別に比較すると、4回塗布した児童(297名)が4.0%、塗布0回の児童(69名)は13.0%だった。

(1) フッ化物塗布事業に参加した9校のむし歯がある児童の割合が低い

令和2年度小学3年生の「6歳臼歯にむし歯がある割合」について、フッ化物塗布事業に参加したモデル校9校と参加していない60校との比較では、事業実施前(平成29年度)は同程度だったり患率が、事業後(令和2年度)は、モデル校9校が8.0%、参加していない60校が9.3%と、モデル校のり患率が1.3ポイント下回りました。

II 実施結果 —主な結果—

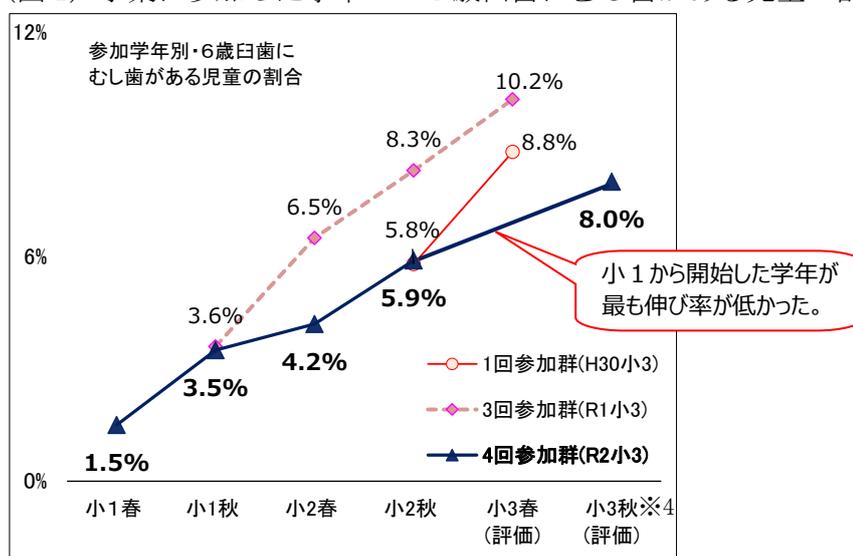
(表4) 足立区の6歳臼歯にむし歯がある小学3年生の割合

	平成29年度 小3 (5,314名) (事業実施前の基準値)	令和2年度 小3 (5,083名) (事業後の評価値)
事業に参加した9校	10.0%	8.0%
参加していない60校	10.3%	9.3%

(2) 4回参加した学年のむし歯がある児童の割合が低い

モデル校9校で塗布事業に参加した学年の比較では、小1春から小2秋まで4回参加した学年は、3回参加学年(小1秋・小2春・小2秋)・1回参加学年(小2秋のみ)より、「6歳臼歯にむし歯がある児童の割合」が低くなりました。

(図1) 事業に参加した学年の「6歳臼歯にむし歯がある児童の割合」

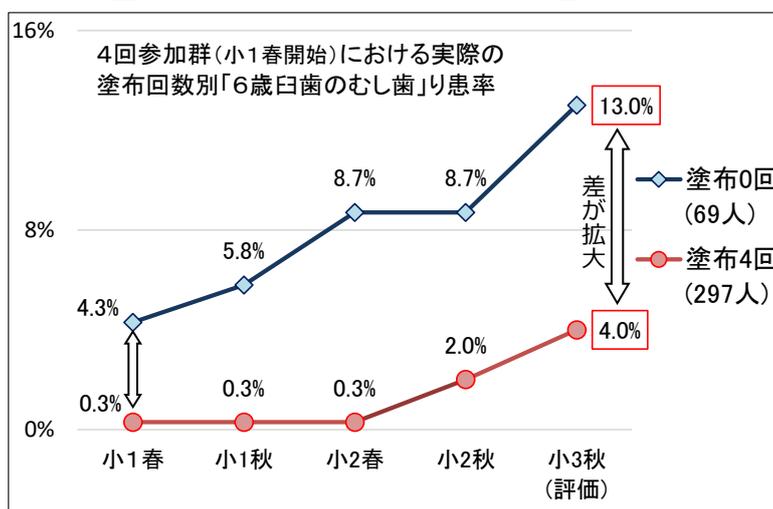


※4 R2は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、学校健診が秋に実施

(3) 4回塗布した児童は、むし歯がある割合が低い

小1春から4回参加した学年の「6歳臼歯にむし歯がある児童」を実際に塗布した回数別に比較すると、4回塗布した児童(297名)が4.0%と最も低く、塗布0回の児童(69名)の13.0%を9.0ポイント下回りました(詳細は、資料編P10)。

(図2) 塗布回数別の6歳臼歯のむし歯り患率



3 主な課題

(1) 保護者の約2割は、フッ化物塗布事業への参加を希望しない

フッ化物塗布を希望する保護者の割合は、回数を追うごとに上昇したものの、5回平均で77.1%と、約2割から希望がありませんでした。

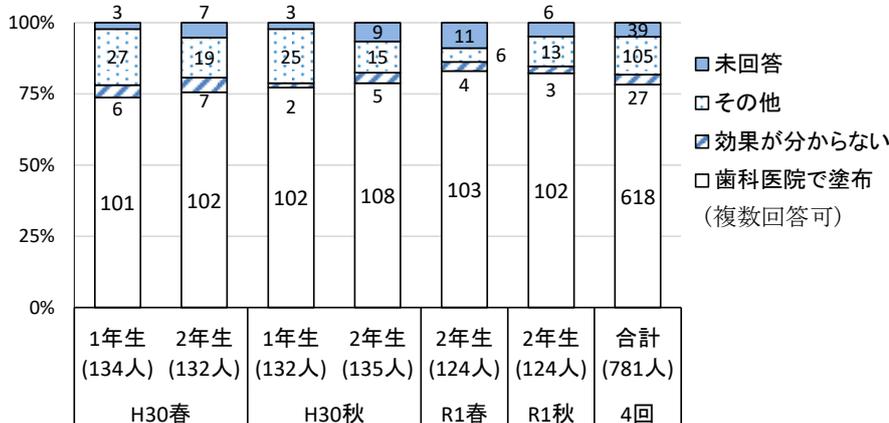
(表5) 塗布希望率および塗布を希望しない理由

年度	在籍児童数(延べ)	塗布希望率
29年度(小1、小2)	1,394名	68.4%
30年度(小1、小2)	2,651名	79.3%
元年度(小2)	1,365名	81.5%
合計	5,410名	77.1%

(2) 保護者が塗布を希望しない理由の多くは「歯科医院で塗布している」

保護者が塗布を希望しない理由は、「歯科医院で塗布しているから」が79.1%、「効果がわからない」は3.5%でした。

(図3) 保護者が塗布を希望しない理由 (H30年度から調査開始)



(3) 6歳臼歯が生える時期は、4～7歳と個人差が大きい

学校歯科医アンケートから、「6歳臼歯は、実際4～7歳と生える時期には個人差が大きく、より多年にわたる継続的な管理が理想と感じた」とのご意見がありました(詳細は、資料編P12)。

4 今後の方針

今回のモデル事業では、フッ化物塗布に一定のむし歯予防効果が得られました。

一方、授業時間の調整や希望調査票の配付・回収等、学校側の尽力にも関わらず、塗布を希望しない保護者が約2割と高く、全校展開には課題が残りました。今後は、以下について検討していきます。

(1) 就学前からのフッ化物塗布活用を検討

「フッ化物」は、生え始めの歯に効果が高いため、幼児期の歯科健診等、就学前からの活用について検討していきます。

(2) 小学1年生対象「6歳臼歯健康教室」でフッ化物の活用法を啓発

保護者の希望によらず児童が全員参加可能な「6歳臼歯健康教室※5」において、「フッ化物入り歯みがき剤」の啓発を強化していきます。

※5 6歳臼歯の健全な育成を目指して、区歯科衛生士が小学校で健康教室を実施

一資料編一

1 学校別実施結果一覽

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
A 小学校	平成 29年度	秋	1年生	85	82	96.5%	67	78.8%	62	72.9%	
			2年生	93	91	97.8%	61	65.6%	59	63.4%	
	30年度	春	1年生	74	74	100.0%	56	75.7%	45	60.8%	
			2年生	85	85	100.0%	67	78.8%	63	74.1%	
		秋	1年生	73	73	100.0%	60	82.2%	53	72.6%	
			2年生	85	85	100.0%	72	84.7%	70	82.4%	
	令和 元年度	春	2年生	74	74	100.0%	58	78.4%	56	75.7%	
		秋		75	75	100.0%	62	82.7%	59	78.7%	
	5回合計				644	639	99.2%	503	78.1%	467	72.5%

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
B 小学校	平成 29年度	秋	1年生	53	53	100.0%	35	66.0%	31	58.5%	
			2年生	56	56	100.0%	44	78.6%	40	71.4%	
	30年度	春	1年生	56	56	100.0%	42	75.0%	28	50.0%	
			2年生	54	53	98.1%	43	79.6%	41	75.9%	
		秋	1年生	57	56	98.2%	43	75.4%	36	63.2%	
			2年生	54	53	98.1%	41	75.9%	40	74.1%	
	令和 元年度	春	2年生	58	58	100.0%	49	84.5%	45	77.6%	
		秋		59	59	100.0%	51	86.4%	50	84.7%	
	5回合計				447	444	99.3%	348	77.9%	311	69.6%

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
C 小学校	平成 29年度	秋	1年生	39	39	100.0%	28	71.8%	18	46.2%	
			2年生	54	54	100.0%	41	75.9%	39	72.2%	
	30年度	春	1年生	50	50	100.0%	43	86.0%	26	52.0%	
			2年生	38	38	100.0%	26	68.4%	22	57.9%	
		秋	1年生	50	50	100.0%	37	74.0%	30	60.0%	
			2年生	39	39	100.0%	28	71.8%	23	59.0%	
	令和 元年度	春	2年生	51	50	98.0%	36	70.6%	30	58.8%	
		秋		53	53	100.0%	36	67.9%	33	62.3%	
	5回合計				374	373	99.7%	275	73.5%	221	59.1%

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
D 小学校	平成 29年度	秋	1年生	50	49	98.0%	30	60.0%	25	50.0%	
			2年生	58	58	100.0%	36	62.1%	29	50.0%	
	30年度	春	1年生	58	58	100.0%	54	93.1%	44	75.9%	
			2年生	49	48	98.0%	40	81.6%	35	71.4%	
		秋	1年生	59	59	100.0%	55	93.2%	47	79.7%	
			2年生	50	49	98.0%	39	78.0%	36	72.0%	
	令和 元年度	春	2年生	62	61	98.4%	57	91.9%	46	74.2%	
		秋		62	62	100.0%	51	82.3%	45	72.6%	
	5回合計				448	444	99.1%	362	80.8%	307	68.5%

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
E 小学校	平成 29年度	秋	1年生	102	102	100.0%	70	68.6%	66	64.7%	
			2年生	104	104	100.0%	79	76.0%	73	70.2%	
	30年度	春	1年生	99	99	100.0%	81	81.8%	56	56.6%	
			2年生	102	102	100.0%	80	78.4%	75	73.5%	
		秋	1年生	98	98	100.0%	74	75.5%	65	66.3%	
			2年生	101	101	100.0%	74	73.3%	69	68.3%	
	令和 元年度	春	2年生	100	100	100.0%	80	80.0%	75	75.0%	
		秋		102	102	100.0%	85	83.3%	79	77.5%	
	5回合計				808	808	100.0%	623	77.1%	558	69.1%

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
F 小学校	平成 29年度	秋	1年生	79	79	100.0%	44	55.7%	36	45.6%	
			2年生	100	100	100.0%	68	68.0%	64	64.0%	
	30年度	春	1年生	83	83	100.0%	58	69.9%	42	50.6%	
			2年生	79	77	97.5%	57	72.2%	53	67.1%	
		秋	1年生	82	81	98.8%	58	70.7%	47	57.3%	
			2年生	79	79	100.0%	59	74.7%	57	72.2%	
	令和 元年度	春	2年生	82	82	100.0%	62	75.6%	59	72.0%	
		秋		81	81	100.0%	64	79.0%	62	76.5%	
	5回合計				665	662	99.5%	470	70.7%	420	63.2%

一資料編一 学校別実施結果一覧

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
G 小学校	平成 29年度	秋	1年生	81	74	91.4%	43	53.1%	37	45.7%	
			2年生	88	88	100.0%	54	61.4%	54	61.4%	
	30年度	春	1年生	79	78	98.7%	65	82.3%	49	62.0%	
			2年生	79	76	96.2%	63	79.7%	59	74.7%	
		秋	1年生	78	78	100.0%	66	84.6%	53	67.9%	
			2年生	78	78	100.0%	60	76.9%	59	75.6%	
	令和 元年度	春	2年生	79	79	100.0%	70	88.6%	64	81.0%	
		秋		78	78	100.0%	72	92.3%	67	85.9%	
	5回合計				640	629	98.3%	493	77.0%	442	69.1%

学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
H 小学校	平成 29年度	秋	1年生	76	76	100.0%	60	78.9%	51	67.1%	
			2年生	99	99	100.0%	72	72.7%	68	68.7%	
	30年度	春	1年生	95	95	100.0%	75	78.9%	59	62.1%	
			2年生	75	75	100.0%	64	85.3%	63	84.0%	
		秋	1年生	93	92	98.9%	73	78.5%	66	71.0%	
			2年生	73	72	98.6%	66	90.4%	64	87.7%	
	令和 元年度	春	2年生	91	90	98.9%	67	73.6%	65	71.4%	
		秋		90	90	100.0%	65	72.2%	62	68.9%	
	5回合計				692	689	99.6%	542	78.3%	498	72.0%

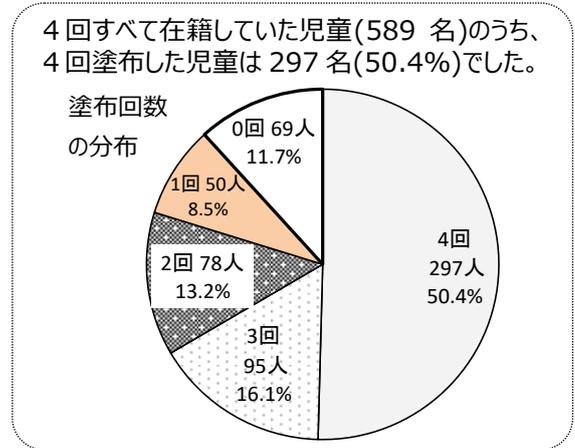
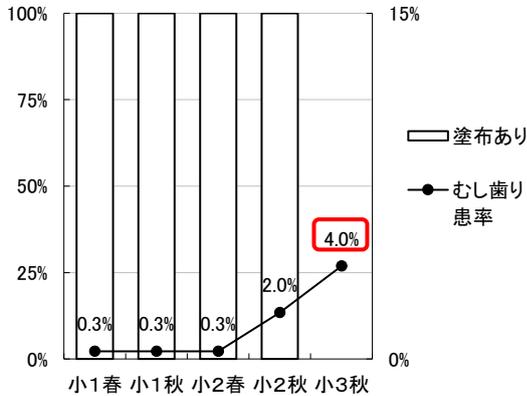
学校名	年度		学年	在籍者数	希望調査書提出		塗布希望者		塗布実施数		
					提出者数	提出率	希望者数	希望率	塗布者数	塗布率	
I 小学校	平成 29年度	秋	1年生	87	87	100.0%	57	65.5%	47	54.0%	
			2年生	90	85	94.4%	65	72.2%	57	63.3%	
	30年度	春	1年生	81	81	100.0%	66	81.5%	48	59.3%	
			2年生	91	91	100.0%	73	80.2%	66	72.5%	
		秋	1年生	83	83	100.0%	72	86.7%	56	67.5%	
			2年生	92	91	98.9%	73	79.3%	62	67.4%	
	令和 元年度	春	2年生	84	83	98.8%	74	88.1%	70	83.3%	
		秋		84	84	100.0%	74	88.1%	67	79.8%	
	5回合計				692	685	99.0%	554	80.1%	473	68.4%

2 4回参加した学年における塗布回数別「6歳臼歯にむし歯がある児童」の推移

小1春から4回事業に参加した学年について、塗布回数別に「塗布しなかった(できなかった)理由」および「6歳臼歯にむし歯がある児童の割合」を分析しました。

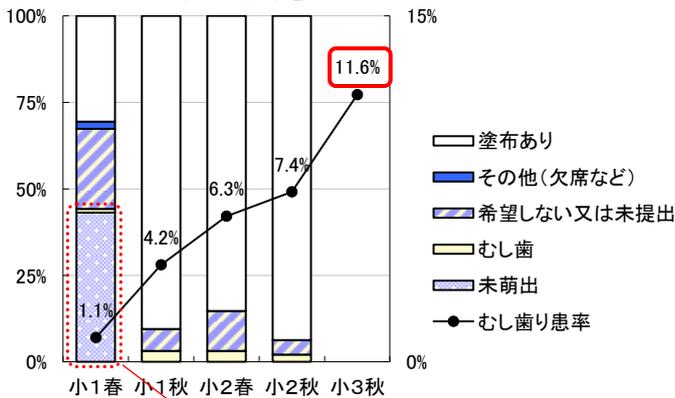
(1) 4回塗布した児童のむし歯り患率は、4.0%と最も低い結果でした。

【4回塗布した児童(297名)のむし歯り患率】

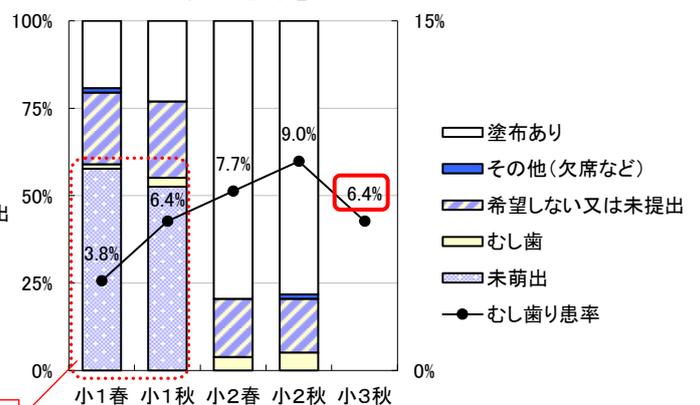


(2) 塗布2回、3回の児童の塗布しない(できない)理由は「6歳臼歯が生えていない」が多くなっています。

【3回塗布した児童(95名)の塗布しない理由およびむし歯り患率】



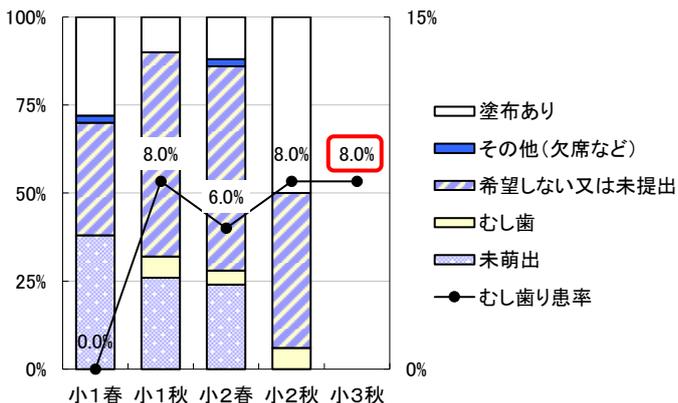
【2回塗布した児童(78名)の塗布しない理由およびむし歯り患率】



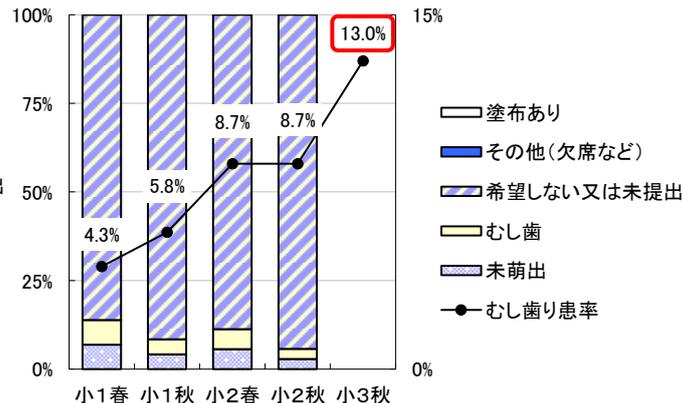
小1春・小1秋の塗布しない(できない)理由は、「未萌出(生えていない)」の割合が多い。

(3) 塗布0回、1回の理由は「希望しない又は未提出」の割合が多くなっています。

【1回塗布した児童(50人)の塗布しない理由およびむし歯り患率】



【塗布0回の児童(69人)の塗布しない理由およびむし歯り患率】



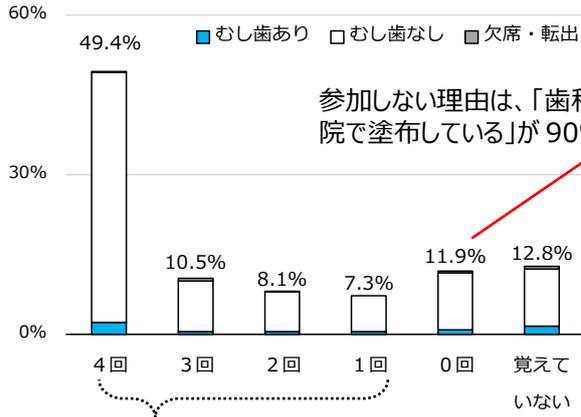
3 令和元年度事後アンケート結果（保護者・教職員・学校歯科医）

令和元年度の事業終了後に「事後アンケート」を実施しました。

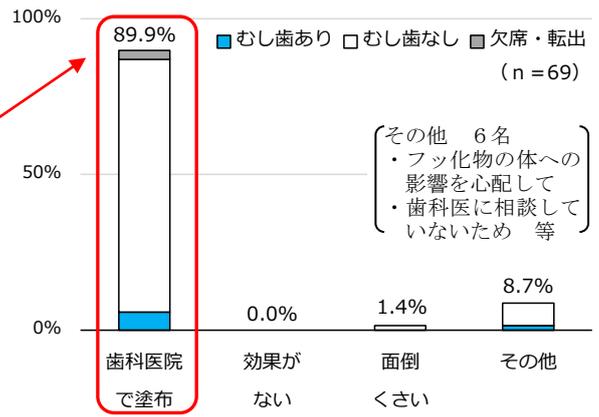
対象：令和元年度小2保護者(684名)	【回答者】579名(回答率84.6%)
モデル校教職員	【回答者】10名(学校長1名・養護教諭9名)
モデル校学校歯科医	【回答者】7名

(1) 保護者アンケート [回答者] 579名

ア 塗布希望回数(保護者の選択)

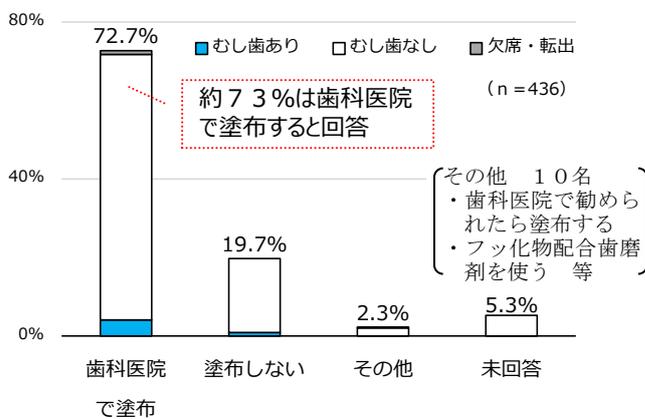


イ 【0回を選んだ方】不参加の理由



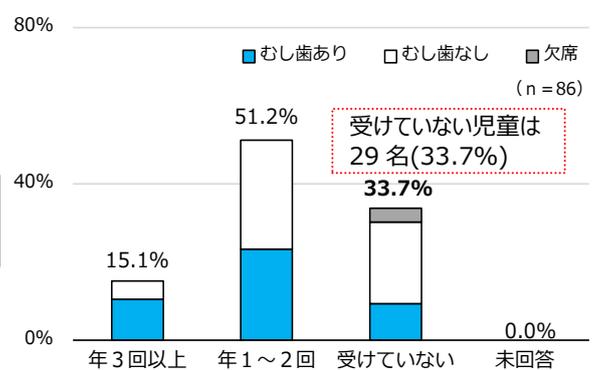
ウ 【1～4回を選んだ方】

学校で実施しない場合どうするか



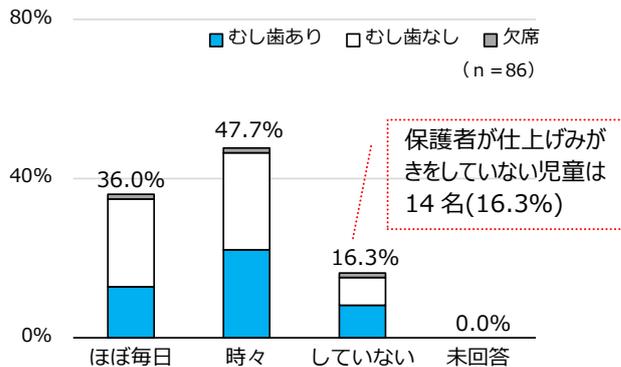
エ 【ウで“塗布しない”を選んだ方】

歯科医院で定期チェックを受けているか



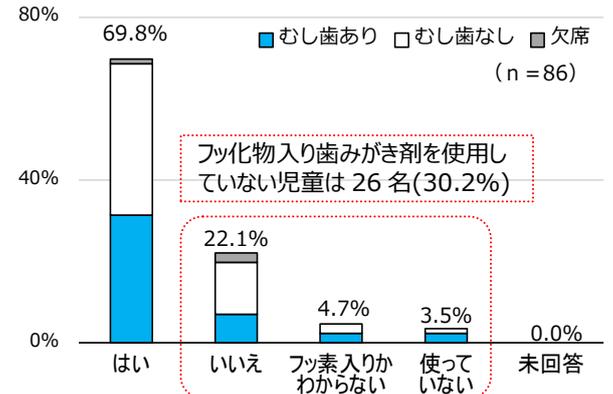
オ 【ウで“塗布しない”を選んだ方】

保護者の仕上げみがきの実施



カ 【ウで“塗布しない”を選んだ方】

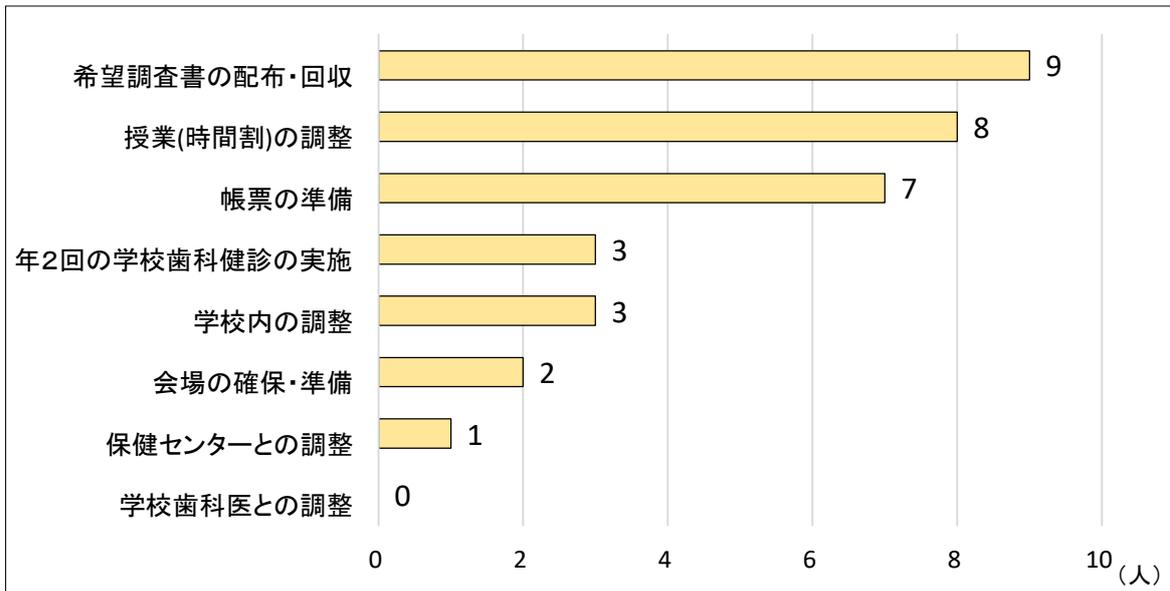
フッ化物入り歯みがき剤の使用



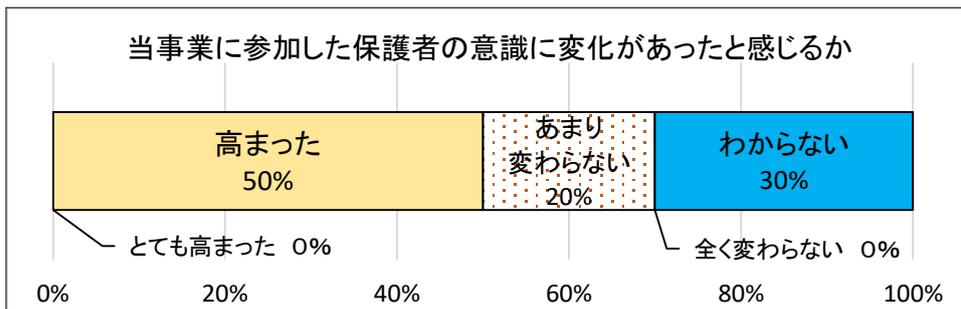
(2) 教職員アンケート [回答者] 10名

実施に当たり「大変だったこと」は、希望調査書の配付・回収、授業の調整、帳票の準備の順に多くなっています。

ア 実施にあたり大変だったこと(複数回答)



イ 当事業に参加した保護者の意識に変化があったと感じるか

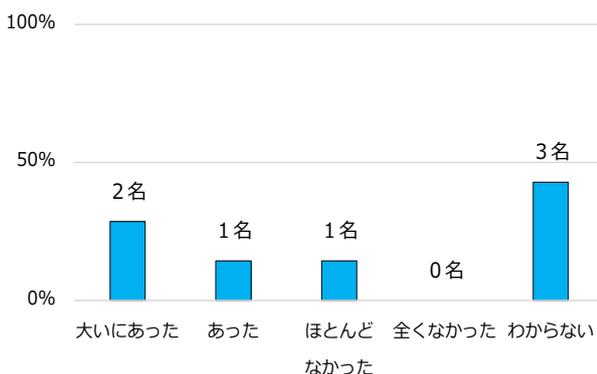


ウ 「永久歯フッ化物塗布事業」について(自由意見)

- ① なかなか歯医者への受診ができない児童も学校を通してフッ化物塗布を行えたこと、とてもいい体験だったと思います。
- ② 学校でのフッ化物塗布でどれくらいの効果があるのか明確ではないし、保護者の意識の変容もあまりみられない。児童への歯みがき指導を行ったことは児童の歯みがきへの関心も高まっていたので、継続していく効果は期待できる。

(3) 学校歯科医アンケート モデル校学校歯科医【回答者】7名

ア 当事業を通して「歯の健康」に関する取り組みへの波及効果があったか



《ご意見》

- ・ 第一大臼歯(6歳臼歯)をう蝕にするかしないかは、大変重要な事だと思われます。早期に深いう蝕は痛みを伴い、治療による恐怖心や、口腔衛生状態の悪化と悪循環に向かってしまいます。その状態を回避するために大事な時期だと思います。
- ・ 6歳臼歯とはいえ、実際4～7歳と生える時期には個人差が大きく、より多年にわたる継続的な管理が理想と感じた。

4 役割分担および必要物品

(1) 事前準備

学校歯科医	学校	保健センター
歯科健診およびフッ化物塗布日程の決定		
フッ化物塗布事業の打合せ・準備		
	①会場確保 ②保護者説明資料等の配付 ・事業説明資料 【様式1】 ・希望調査書 【様式2】 ・アンケート用紙 ③希望調査書・アンケート用紙回収 ④氏名ゴム印の押印 ・結果説明書 【様式3】 ・記録(学校用)【様式4】 ・記録(区用) 【様式5】	①歯科衛生士確保 打合せ ②帳票印刷、帳合 【様式1～5】 学校へ送付 ③使用物品・薬剤等購入 ④事前確認

(2) 歯科健診・フッ化物塗布当日

学校歯科医	学校	保健センター
歯科健診(春・秋 2回実施)		
	会場準備、児童の誘導等	1、2年生の記録
	フッ化物塗布(同日・別日) *実施する児童のみ	
	児童の誘導	①会場準備 ②フッ化物塗布 ③結果説明書の記入
	事後処理	
結果説明書の配付	①歯科健診結果の転記 ②入力・集計 ③結果報告	

(3) 必要物品一覧

保健センター				学校
品名	必要数	品名	必要数	品名
グローブ	必要数	ワッテ缶	2個	会場の確保(水場有り)
マスク	1箱	ピンセット	5本	椅子・机
紙トレイ	児童数	ゴミ袋	10枚	水の入ったやかん又はペットボトル
デンタルミラー	児童数	アルコールティッシュ	6個	希望調査書 【様式2】
歯ブラシ	児童数	ティッシュペーパー	6箱	結果のお知らせ【様式3】
紙コップ	児童数	ペーパータオル	3箱	フッ化物塗布記録票【様式4・5】
綿棒(大・小)	児童数	セロハンテープ	1個	
角綿	児童数	タイマー	5個	
フルオール・ゼリー	2本	文具・筆記用具	適宜	
プラスチックシリンジ	5本	クリアファイル	適宜	
金属バット	5個	決裁板・日付印等	適宜	

(4) フッ化物塗布の手順

ア 準備物

児童が塗布コーナーの椅子に着席する前に準備

- 紙トレイ [①綿棒大 ②綿棒小 ③ワッテ 1枚
④歯ブラシ ⑤フッ化物ゲル(0.2ml = 1MEI)]
⑥紙コップ (一口量の水) ⑦タイマー (1分間)
⑧グローブ ⑨ポップ(新1年生のみ)
※必要に応じて
手鏡・時計・デンタルミラー・ペンライト



イ 対象児童の確認

本人確認 (氏名)

- <対象児>**
- ・保護者の希望がある
 - ・6歳臼歯が生えている
 - ・6歳臼歯に未処置歯がない
- * 3つすべて当てはまる児童が対象

5ml シリンジに
フッ化物ゲル
を入れて計量



ウ フッ化物塗布

歯科衛生士が歯ブラシで歯垢を除去

- ↓
ぶくぶくうがい (1回)
↓
綿棒で6歳臼歯のだ液を拭う
↓
フッ化物ゲルを塗布

- 口を開けて
1分待つ
- <子どもたちに声かけ>**
- ・一人ひとりに、「歯みがき」や「むし歯予防」などの声かけを実施。
 - ・特に、乳歯にむし歯がある子には、治療に行くよう勧める。

- フッ化物ゲルを拭い終了
(だ液を吐き出す)
↓
30分間、飲食禁止の説明

個別指導用に、
机・椅子を配置。



5 各種帳票

(1) 保護者説明書

〇〇〇〇小学校 2年生の保護者様

2019年度

6歳臼歯フッ化物塗布（モデル事業）春実施のご案内

モデル事業、最終年です！
ぜひ、ご参加ください。





〇〇〇〇小学校では、永久歯（6歳臼歯）のむし歯予防のため、年2回（春と秋）「6歳臼歯※1」にフッ化物塗布を行います。

別紙の「フッ化物塗布 希望調査書」をご提出ください。
(希望しない方も、全員提出をお願いします。)

※1 6歳臼歯は、乳歯の奥に生える大人の歯です(上下左右4本)

※希望がある場合でも、塗布できない場合があります。
※フッ化物塗布事業の詳細は裏面をご参照ください。

フッ素(フッ化物)ってなあに？

歯質の強化&耐酸性向上

フッ化物は、歯の質を強くし、歯の再石灰化を促します

酸産生の低下

フッ化物は、むし歯菌が出す酸から歯を守ります



区歯科衛生士が6歳臼歯をみがいてフッ化物を塗ります

写真

昨年のフッ化物塗布の様子

フッ素は、人間の体(歯・骨)に含まれ、海産物・野菜・果物など、自然界にも広く存在しています

フッ素(フッ化物)はどのように利用するの？

★3つの方法があります！

今回、学校で実施する方法です

	濃度	効果が期待できる頻度	むし歯予防効果
① フッ化物塗布	9,000ppm	年に2～4回	30～40%
② フッ化物配合歯みがき剤	1,000ppm以下	1日1回以上	20～30%
③ フッ化物洗口	900ppm	週1回	30～40%



「①フッ化物塗布」と「②フッ化物配合歯みがき剤」を組み合わせると、むし歯予防により効果的です！

詳しくは裏面をご覧ください

足立区・足立区教育委員会・(公社)足立区歯科医師会・足立区学校歯科医会
 (問合せ) 足立区衛生部データヘルス推進課 多世代健康データ連携担当 03(3880)5601
 足立保健所〇〇保健センター 歯科保健担当 03(〇〇〇〇)〇〇〇〇

15

(2) 希望調査用紙

フッ化物塗布 希望調査書	2019年 月 日
<p>〇〇〇小学校 2年生の保護者の方へ</p> <p>「6歳臼歯のフッ化物塗布」の参加について（希望調査）</p>	
<p>足立区教育委員会教育指導課長 小坂 裕紀 足立区衛生部データヘルス推進課長 物江 耕一郎 足立区立〇〇〇小学校長 〇〇 〇〇</p>	
<p>日頃より本校の運営にご理解ご協力いただき感謝いたします。</p> <p>2019年度、〇〇〇〇小学校では「6歳臼歯のフッ化物塗布（モデル事業）」を実施します。</p> <p>春実施分について、下記の「希望調査書」をご提出くださいますよう、お願いいたします。</p>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>下記の「フッ化物塗布希望調査書 2019春分」に記入の上、 </p> <p>〇月〇日までに 担任の先生 まで提出してください</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">※希望しない方も全員提出をお願いします</p> </div>	
<p>【日にち】 2019年 〇月 〇日（ ） 春の学校歯科検診と同時期</p> <p>【対象】 保護者の希望（同意）があり、学校歯科検診で対象となった児童</p> <p>※詳しくは、別紙「2019年度 6歳臼歯フッ化物塗布（モデル事業）春実施のご案内」をご確認ください。</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">※実施した結果は、個人情報の適正な保護のもと足立区のコンピュータ等に記録・保存され、統計や健康づくり等に活用されることをご了承ください。</p> <p style="text-align: center;">【問合せ】 足立区データヘルス推進課 多世代健康データ連携担当 電話 03(3880)5601</p>	
フッ化物塗布 希望調査書 2019年春分	キリトリ
<p>〇月〇日までに 担任の先生に提出してください ※希望しない方も全員提出をお願いします</p>	
<p>当てはまるものに○をつけ、学年・組・番号・氏名を記入の上、ご提出ください</p> <p style="text-align: right;">記入日：2019年 月 日</p> <p>今回のフッ化物塗布を</p> <p>1 希望します</p> <p>2 希望しません → 【希望しない理由をお聞かせください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医院で定期的に塗布しているから ・フッ素の効果がよくわからないから ・その他（ ） <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">年 組 番 氏名 _____</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">保護者 氏名 _____ 印 _____</p>	

(3) 結果のお知らせ

2019年 月 日

保護者様

足立区教育委員会教育指導課長 小坂 裕紀
 足立区衛生部データヘルス推進課長 物江 耕一郎
 足立区立〇〇小学校長 〇〇 〇〇

「6歳臼歯のフッ化物塗布」実施結果のお知らせ

日頃より本校の運営にご理解ご協力いただき感謝いたします。
 さて、本日実施いたしました「6歳臼歯のフッ化物塗布」の結果は以下のとおりです。

_____ さん

6歳臼歯 _____ 本に
 フッ化物ゲルを塗布しました。

塗布しませんでした。



	6歳臼歯が生えていませんでした。
	6歳臼歯に未処置のむし歯がありました。早めに歯科医院を受診しましょう。
	その他 ()

- ・塗布後30分を過ぎれば、食事や歯みがき等をして大丈夫です。
- ・近日中に、かかりつけの歯科医院を受診する際は、このお知らせをご持参ください。

使用薬剤名：フルオール・ゼリー歯科用2%
 (フッ素濃度 9,000ppm)



ご家庭でも「6歳臼歯のむし歯予防」を!

① フッ化物配合歯みがき剤を使う
 (1日に1回以上の使用が効果的)



② 小学校3年生頃までは、仕上げみがきを行う

問合先：〇〇保健センター 〇〇〇〇—〇〇〇〇

（４）事後アンケート

永久歯フッ化物塗布事業に関するアンケート

「永久歯フッ化物塗布事業」に関するアンケート

※保護者の方がご記入くださいますようお願いいたします。○月○日(○)までに、担任の先生にご提出ください。

1 学校で実施したフッ化物塗布事業について、何回希望しましたか？

- ①4回 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤0回 ⑥覚えていない

<事業実施時期>

- 1回目：平成 30年春
2回目：平成 30年秋
3回目：令和 元年春
4回目：令和 元年秋

2 1の質問で、⑤0回を選んだ方にお聞きします。

フッ化物塗布事業に参加しなかった理由をお答えください。

- ①歯科医院で塗布しているので、必要ないと思ったから
②フッ化物はむし歯予防に効果がないと思ったから
③面倒くさいから
④その他（ ）

3 1の質問で、①②③④の1～4回を選んだ方にお聞きします。

今回、学校でフッ化物塗布事業を実施しなかった場合は、どのようにしたと思いますか？

- ①歯科医院でフッ化物塗布をした
②フッ化物塗布はしない
③その他（ ）

◇全員の方がお答えください。

4 お子さんは1日あたりどれくらい歯みがきをしますか(給食後を除く)。

- ①1日2回以上 ②1日1回 ③毎日歯みがかない ④わからない

5 お子さんはフッ素入りの歯みがき剤を使用していますか。

- ①はい ②いいえ ③フッ素入りかわからない ④歯みがき剤を使っていない

6 保護者の方が、お子さんの仕上げみがきをすることがありますか。

- ①ほぼ毎日している ②ときどきしている ③していない

7 お子さんは、歯科医院で歯科チェックを受けていますか。

- ①年3回以上受けている ②年に1～2回受けている ③受けていない

8 お子さんのふだんのお菓子のとり方について、あてはまる番号を選んでください。

- ①決まった時間に食べる ②食べない ③自由に食べる

9 6歳臼歯のむし歯予防をより効果的にすすめるため、「フッ化物塗布事業」の結果と合わせて分析します。ご賛同いただける方は、組、出席番号、氏名をご記入ください。

① _____ 組 _____ 番 _____ (氏名)

② 回答しない

お忙しい中、ご協力ありがとうございました



永久歯フッ化物塗布事業（モデル事業） 実施報告書

令和3年11月発行

発行 足立区

編集 足立区 衛生部 データヘルス推進課

東京都足立区中央本町1-17-1

電話 03-3880-5601

令和 2 年度 あだちっ子歯科健診※実施結果報告書（案）

あだちっ子歯科健診は、年少児（4歳）～年長児（6歳）が在籍する区内すべての教育・保育施設で、「統一基準の歯科健診」「ていねいな受診勧奨」「結果の集計・分析・フィードバック」をセットに実施している。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、実施期間が約 5 か月後ろ倒しとなり、「むし歯がある子の割合」や「5 本以上未処置のむし歯を保有する子の割合」が増加に転じた年齢もあった。令和 2 年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

※ あだちっ子歯科健診の概要は P10 へ

令和 2 年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次

1	令和 2 年度施設参加率と受診率	P 1
2	令和 2 年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】	P 2
	(1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合（H27～R2 年次推移）	
	(2) ① 5 本以上未処置のむし歯がある子どもの割合（年齢別・経年比較）	
	② 施設種別 むし歯がある子どもの割合（R1、R2 年度比較）	
	(3) 区立保育園・こども園におけるむし歯の状況【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】	
3	令和 3 年度の主な取り組み	P 5
4	糖尿病対策アクションプラン—歯科口腔保健対策編—【中間見直しによる改定版】進捗状況	P 5

1 令和 2 年度施設参加率と受診率

(1) 教育・保育施設の参加状況

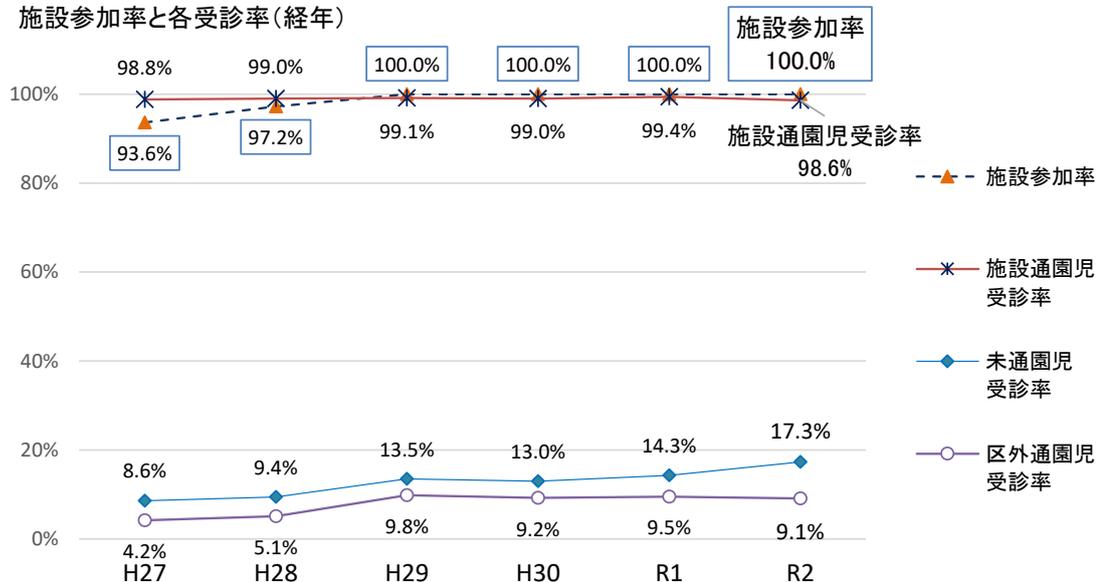
区内の教育・保育施設、計 221 施設（前年度比 + 19 施設）で実施し、平成 29 年度から 4 年連続で参加率 100%となっている（図 1）。

(2) 歯科健診受診率

施設通園児 98.6%（前年度比 0.8 ポイント減）、未通園児 17.3%（前年度比 3.0 ポイント増）、区外通園児 9.1%（前年度比 0.4 ポイント減）、全体では 93.3%（前年度比 0.1 ポイント減）の受診率であった。区内の教育・保育施設に通っていない子ども

（以下、「未通園児等」という）は、個別通知用の封筒を目立つようピンク色に変更するなど、工夫したことにより、受診者数が増加している。

（図 1）施設参加率と各受診率（経年）

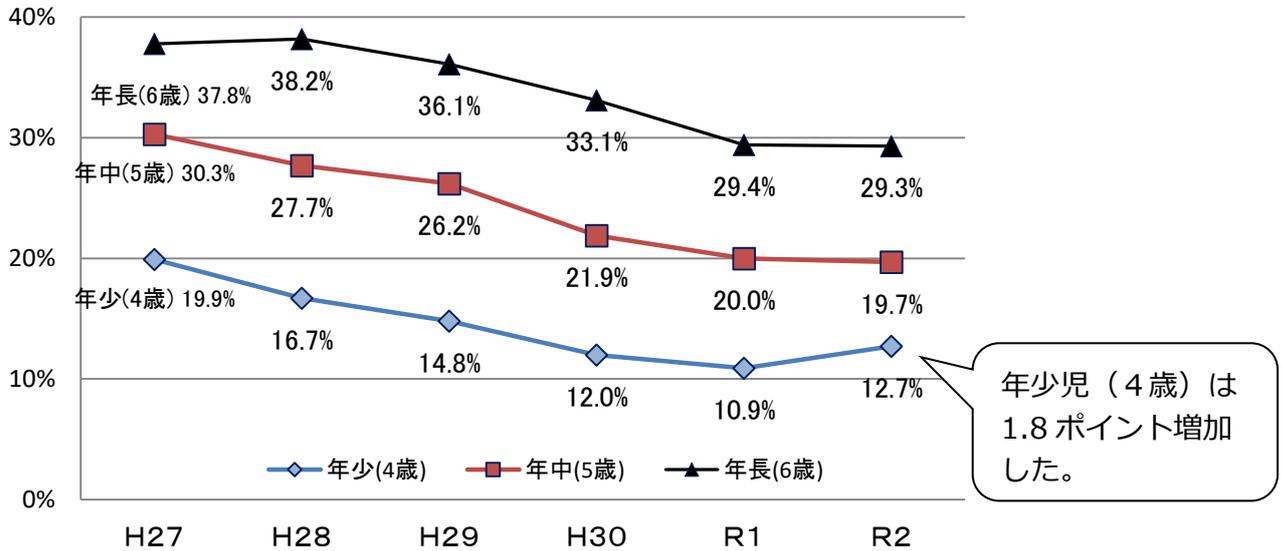


2 令和2年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

(1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合

乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年中児(5歳)、年長児(6歳)は微減であった。年少児(4歳)は、27年度にあだちっ子歯科健診を開始して以来、初めて増加に転じた。

(図2) 乳歯にむし歯がある子どもの割合 (むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む)



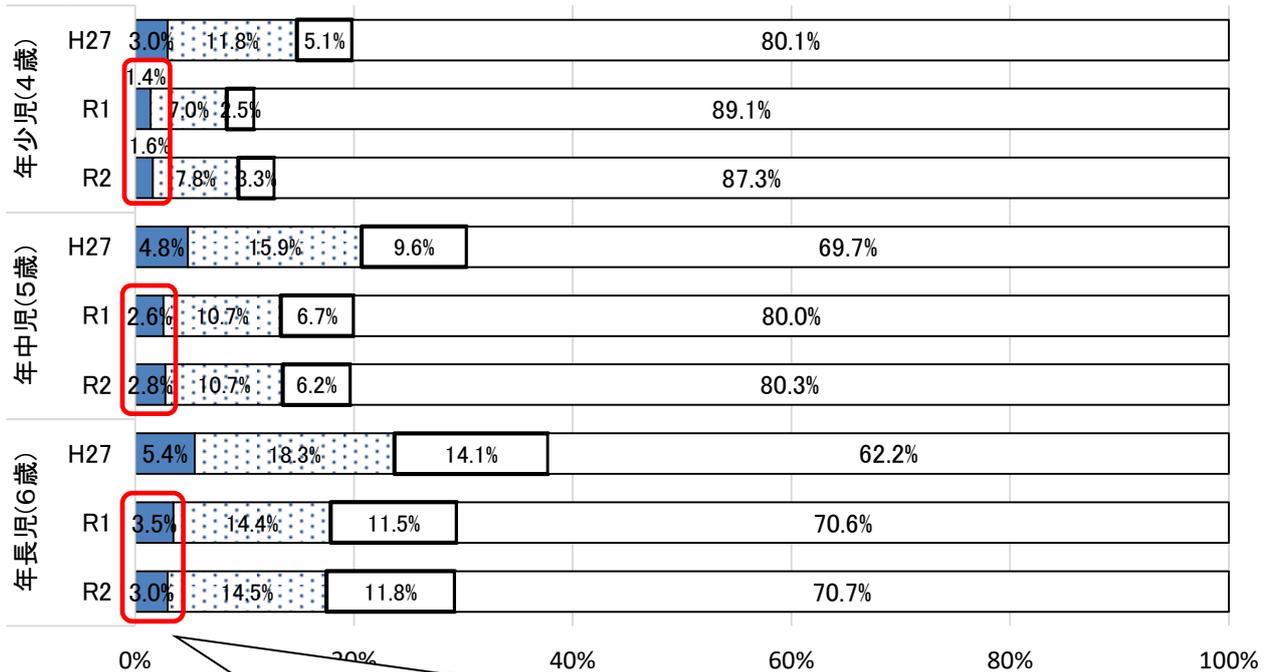
(2) 5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合

① 年齢別・経年比較 (H27、R1、R2年度)

平成27年度からみると全年齢で大きく減少しているが、前年度比では、年少児(4歳)、年中児(5歳)はともに0.2ポイント増、年長児(6歳)は0.5ポイント減であった。

(図 未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R1・R2年度比))

■5本以上 □1~4本 □0本(すべて処置済み) □むし歯なし



5本以上未処置のむし歯がある子は、年少児・年中児で増加している。

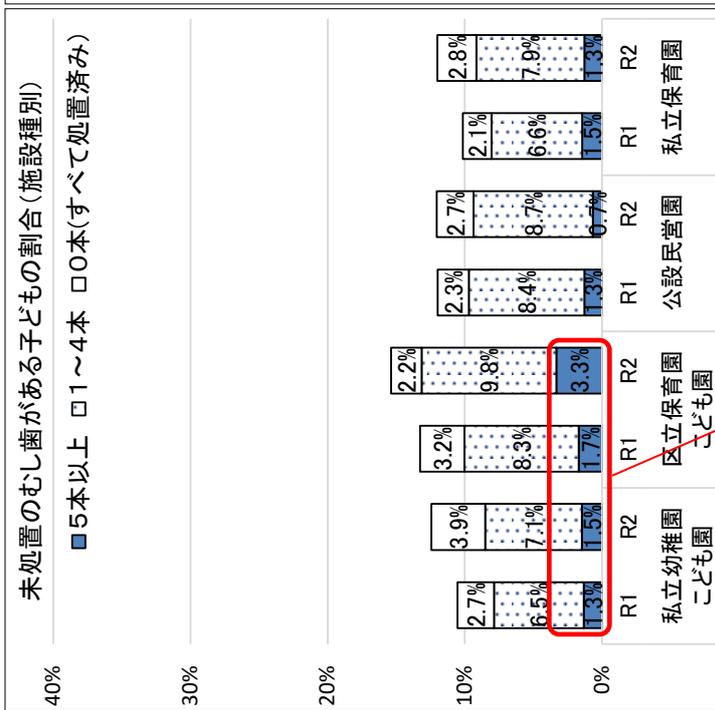
② 施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合 (R1、R2 年度比較)

未処置のむし歯がある子どもは、すべての施設種別で、年齢が上がるごとに増加している。5 本以上未処置のむし歯がある子どもの割合を前年度と比較すると、区立保育園・こども園を除いて、横ばいまたは減少傾向となっている(図4～6)。

ア 年少児 (4 歳)

(図4)

区立保育園・こども園は、未処置歯1～4本、5本以上合わせて3.1ポイント増加している。

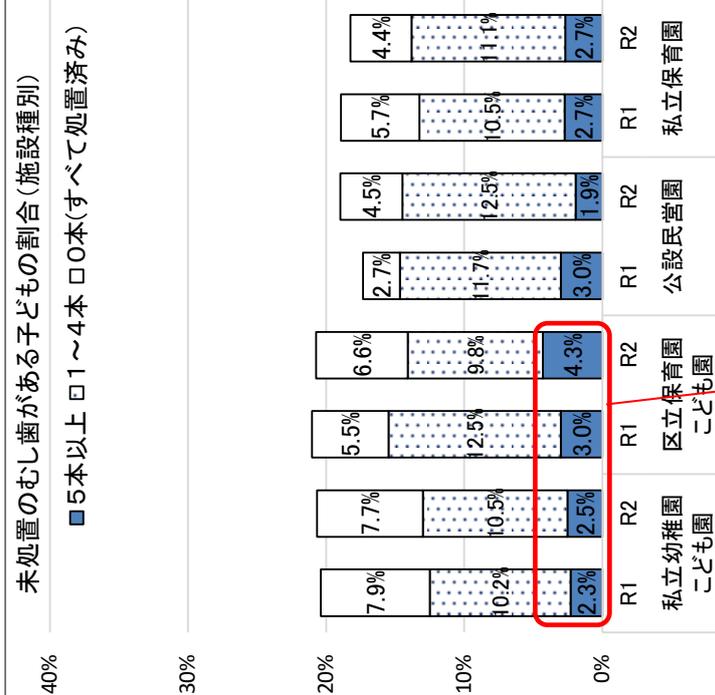


5 本以上未処置のむし歯がある子の割合比較 (R1・R2)
 区立保育園・こども園は、**1.6ポイント増加**
 私立保育園・こども園は、**0.2ポイント増加**

イ 年中児 (5 歳)

(図5)

2 年度の未処置歯保有割合は13～14%と、いずれの施設種別も、同程度となっている。

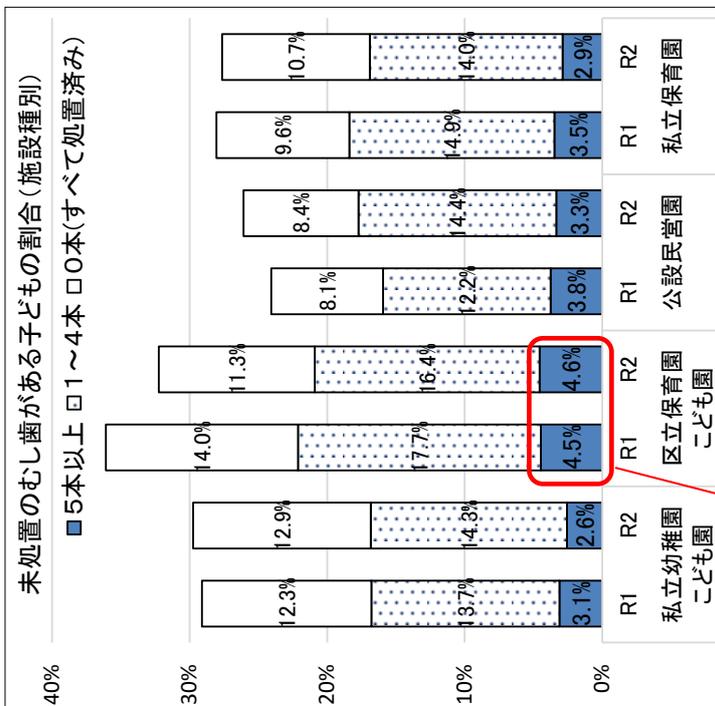


5 本以上未処置のむし歯がある子の割合比較 (R1・R2)
 区立保育園・こども園は、**1.3ポイント増加**
 私立保育園・こども園は、**0.2ポイント増加**

ウ 年長児 (6 歳)

(図6)

2 年度の未処置歯保有割合は、16%～21%、年中児より施設間の差が拡大している。



5 本以上未処置のむし歯がある子の割合比較 (R1・R2)
 区立保育園・こども園のみ、**0.1ポイント増加**

(3) 区立保育園・こども園におけるむし歯の状況【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

令和元年度および2年度に、区立保育園・こども園で歯科健診を受診した子どもの結果をつなげ、分析した。

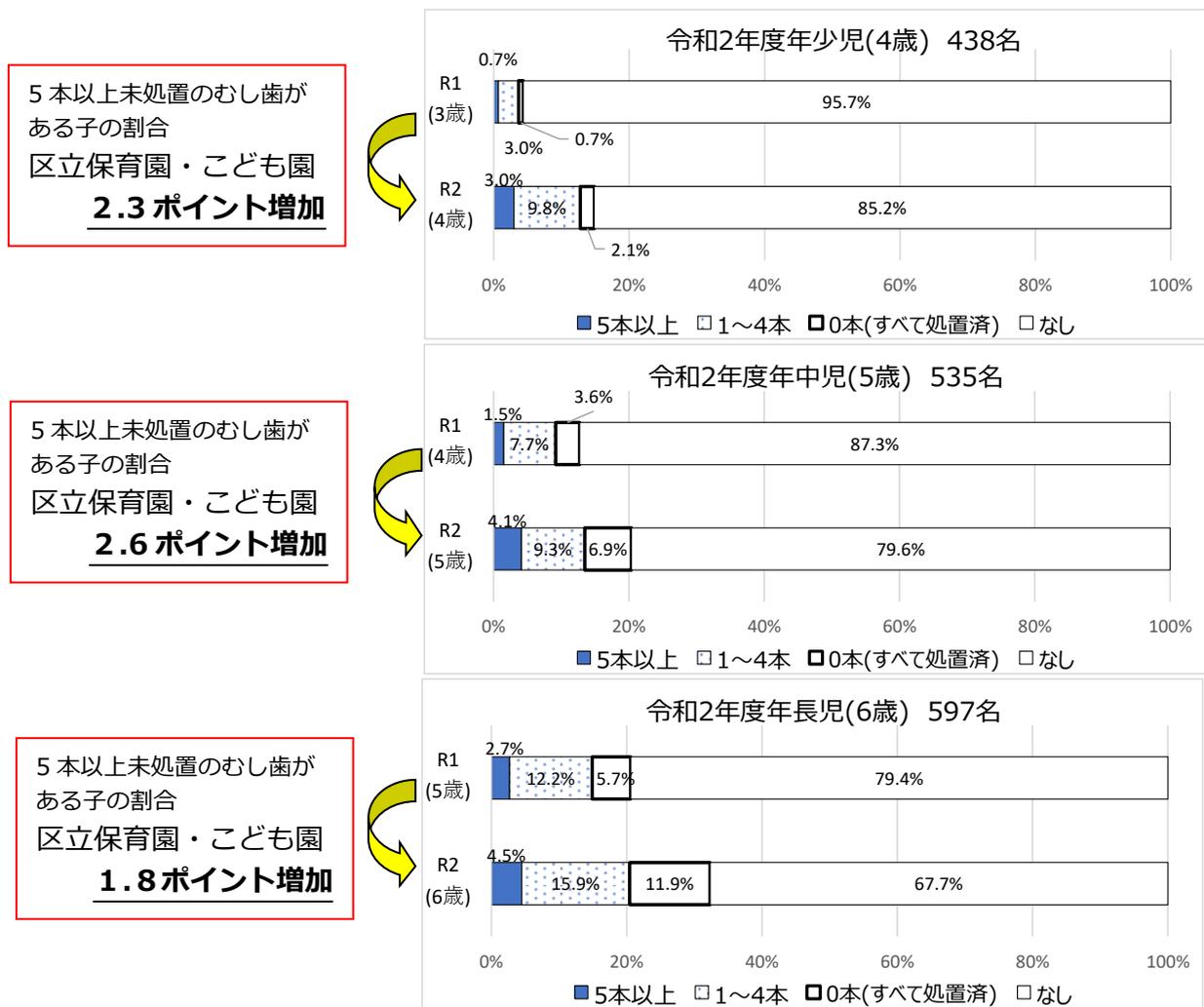
(表1)分析対象者

	2年度	年少児(4歳) 540名	年中児(5歳) 603名	年長児(6歳) 636名
元年度	2歳児(3歳)	509	438	—
	年少児(4歳)	588	—	535
	年中児(5歳)	633	—	—
				597

① 未処置のむし歯がある子どもの割合【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

5本以上未処置のむし歯を保有する子どもの割合は、全年齢で増加している(図7)。

(図7) 未処置のむし歯がある子どもの割合(R1→R2)



② 新たに増えたむし歯の部位【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

新たに増えたむし歯の部位は、表2のとおりであった。

(表2) 年齢別・新たなむし歯ランキング

	2歳児→年少児	年少児→年中児	年中児→年長児
1位	左上 A_29名	左下 D_33名	右下・左下 D_48名
2位	右上 A_28名	右下 D_32名	左上・左下 E_40名
3位	左下 E_17名	右下 E_27名	右上 E_39名

仕上げみがきで、
攻めのむし歯予防!



3 令和3年度の主な取り組み【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

(1) 歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

① 区立保育園・こども園への支援を強化【子ども家庭部】

令和2年度歯科健診データを基に、未処置のむし歯がある子どもの割合が高い施設を優先に、「受診(治療勧奨)」や「保護者・職員による仕上げみがき」、ならびに「歯によいおやつ」等の啓発を強化し、子どものむし歯予防を推進する。

② 私立保育園、私立幼稚園における取り組みの支援【衛生部】

令和元年度以降に開設した保育施設を中心に、歯みがき習慣づくりを支援し、年少児(4歳)クラスから、子どもの歯みがき・保護者の仕上げみがきの開始ならびに習慣化を目指す。

(2) 未通園児の健診受診の推進【子ども家庭部】

昨年度に引き続き、健診期間前から区サービス利用者へ関係機関からの受診勧奨を積極的にすすめるとともに、受診状況を分析し、次年度の受診率向上に向けた取り組みを再度検証していく。また、新たに「ひとり親家庭」や「外国籍家庭」等の関係機関にも依頼し、周知先を広げていく。データ分析により抽出した前年度未受診者に対しては、複数回ハガキ等で受診勧奨をしていく。

(3) 定期学校歯科健康診断データとの分析を実施

定期学校歯科健康診断のデータ化に合わせて、乳歯と永久歯のむし歯の関係について分析・検討を行う。

4 「糖尿病対策アクションプラン-歯科口腔保健対策編-【中間見直しによる改定版】」進捗状況

あだちっ子歯科健診に関連する実績値及び目標値は、下記のとおりである。5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(年長児)は0.5ポイント減少した。

(表3)

		28年度実績 中間実績値	元年度実績 (2019年度)	令和2年度実績 (2020年度)	R4年度 目標値
① あだちっ子 歯科健診(4 ~6歳児)の 受診率を向上 させる	私立幼稚園・認定こども園	98.7%	99.4%	98.6%	100%
	区立保育園・認定こども園	99.1%	98.9%	98.5%	100%
	公設民営園	99.0%	99.3%	98.4%	100%
	私立保育園	99.7%	99.7%	98.9%	100%
	認証保育所	98.5%	99.3%	97.8%	100%
	未通園児等	7.7%	12.5%	14.1%	15%
② 受診(治療) 報告書提出率	私立幼稚園・認定こども園	49%	68.9%	61.4%	60%
	区立保育園・認定こども園	62%	68.4%	74.0%	75%
	公設民営園	61%	78.7%	81.8%	75%
	私立保育園	68%	78.6%	77.7%	75%
	認証保育所	70%	64.7%	81.8%	75%
	未通園児等	50%	56.3%	87.2%	60%
③ むし歯がない子ども の割合	年長児	61.8%	70.6%	70.7%	70%
	小学1年生	59.8%	64.9%	67.5%	65%
④ 5本以上未処置のむし歯がある子ども の割合(年長児)		5.1%	3.5%	3.0%	3%

- 資料編 -

1 令和2年度あだちっ子歯科健診の実施結果

(1) 参加状況および実施時期

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、例年より約5か月後ろ倒しで、9月～11月に実施した。区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）へは、個別に通知を発送している。

(表4)

	施設数	参加数	参加率 (R1年度)	実施時期	備考
私立幼稚園 認定こども園	51	51	100% (100%)	令和2年9月～11月	年少児以上が在籍する施設
区立保育園 認定こども園	30	30	100% (100%)		
公設民営園	16	16	100% (100%)		
私立保育園	111	111	100% (100%)		
認証保育所	13	13	100% (100%)		
未通園児等	R2.9.1を基準日とし対象者を抽出			令和2年9月～11月	個別通知による歯科健診の勧奨

(2) 受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

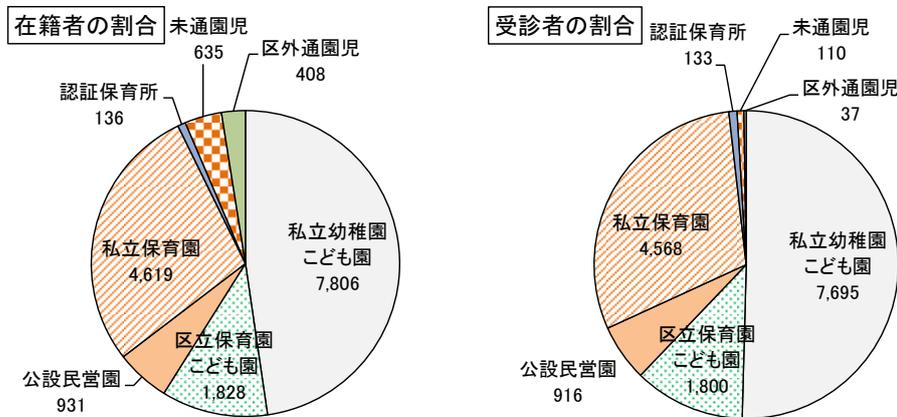
(表5)

※在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載。

		年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)		
		在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	受診率 (R1年度)
私立幼稚園 認定こども園		2,384	2,346	2,635	2,586	2,787	2,763	7,806 (8,233)	7,695 (8,181)	98.6% (99.4%)
区立保育園 認定こども園		556	550	625	611	647	639	1,828 (1,896)	1,800 (1,876)	98.5% (98.9%)
公設民営保育園		309	302	315	314	307	300	931 (940)	916 (933)	98.4% (99.3%)
私立保育園		1,585	1,568	1,588	1,565	1,446	1,435	4,619 (4,386)	4,568 (4,371)	98.9% (99.7%)
認証保育所		50	50	41	39	45	44	136 (149)	133 (148)	97.8% (99.3%)
未通園児等	未通園児	279	44	186	33	170	33	635 (720)	110 (103)	17.3% (14.3%)
	区外通園児	109	13	127	11	172	13	408 (432)	37 (41)	9.1% (9.5%)
合計 (R1年度)		5,272 (5,584)	4,873 (5,181)	5,517 (5,591)	5,159 (5,253)	5,574 (5,581)	5,227 (5,219)	16,363 (16,756)	15,259 (15,653)	
受診率 (R1年度)		92.4% (92.8%)		93.5% (94.0%)		93.8% (93.5%)		93.3% (93.4%)		

受診者の割合は、私立幼稚園が50.4%と最も多かった。未通園児の割合は3.9%に対して、受診者の割合は0.7%に留まっている。

(図8) 在籍者、受診者の割合



(3) 未通園児等の未受診理由

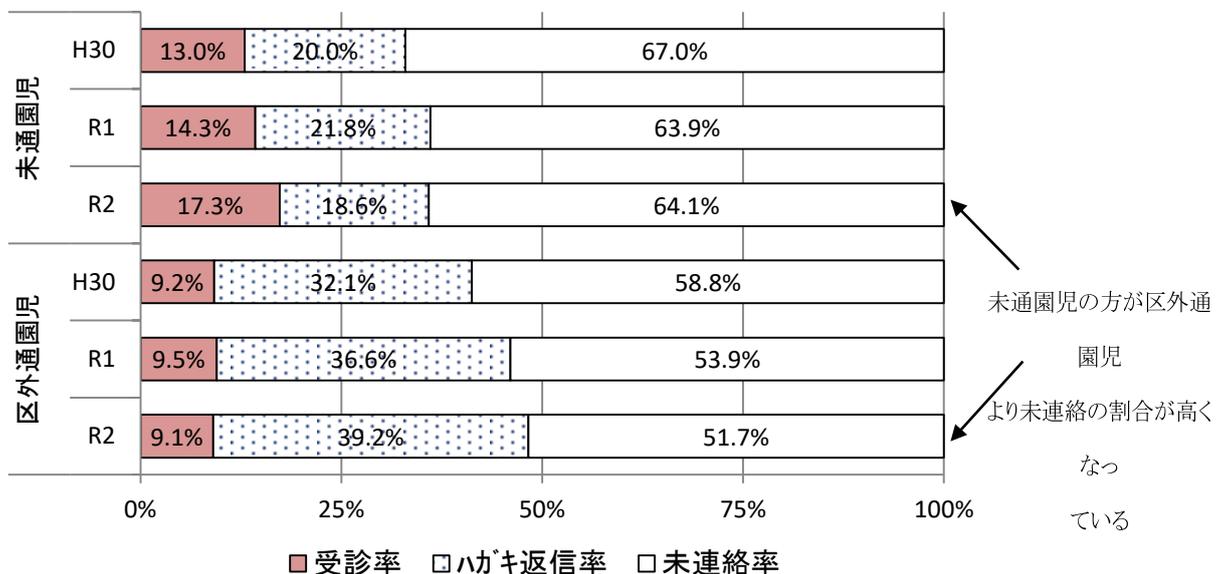
歯科健診の個別通知の際、健診を希望しない理由を調査するためのハガキを同封したところ、未通園児の18.6%、区外通園児の39.2%から返信があった。

(表6)

	対象者 (R1年度)	歯科健診受診		未受診			
		受診者 (R1年度)	受診率 (R1年度)	希望しないハガキ		未連絡	
				返信数 (R1年度)	返信率 (R1年度)	人数 (R1年度)	割合 (R1年度)
未通園児	635 (720)	110 (103)	17.3% (14.3%)	118 (157)	18.6% (21.8%)	407 (460)	64.1% (63.9%)
区外通園児	408 (432)	37 (41)	9.1% (9.5%)	160 (158)	39.2% (36.6%)	211 (233)	51.7% (53.9%)
合計	1,043 (1,152)	147 (144)	14.1% (12.5%)	278 (315)	26.7% (27.3%)	618 (693)	59.3% (60.2%)

希望しない理由（複数回答可）は、「歯科医院に通院している」「歯科医院で定期的にチェックしている」「通っている施設で受けた」が多くなっている。

(図9) 歯科健診を希望しない割合（ハガキ返信率）



(4) 「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は14,483名で、全受診者の94.9%であった。

(表7) ※受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		システム登録人数合計	
	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)	受診者 (R1年度)	登録者 (R1年度)
人数	4,873 (5,181)	4,606 (4,922)	5,159 (5,253)	4,896 (5,004)	5,227 (5,219)	4,981 (4,939)	15,259 (15,653)	14,483 (14,865)
登録率	94.6% (95.0%)		94.9% (95.3%)		95.3% (94.6%)		94.9% (95.0%)	

(5) 歯科健診分析結果 (足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果)

① 乳歯にむし歯がある子どもの割合 (年齢別)

令和2年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年少児(4歳)のみ増加した。

(表8) むし歯がある子どもの割合

	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率
平成27年度	4,829	959	19.9%	4,856	1,473	30.3%	5,014	1,894	37.8%
平成28年度	4,925	823	16.7%	5,086	1,408	27.7%	4,983	1,903	38.2%
平成29年度	4,868	719	14.8%	5,058	1,324	26.2%	5,134	1,854	36.1%
平成30年度	4,945	591	12.0%	4,926	1,080	21.9%	5,057	1,672	33.1%
令和元年度	4,922	536	10.9%	5,004	1,001	20.0%	4,939	1,453	29.4%
令和2年度	4,606	587	12.7%	4,896	965	19.7%	4,981	1,457	29.3%

② 乳歯にむし歯がある子どもの割合 (施設種類別)

「乳歯にむし歯がある子どもの割合」の施設間の差は、年少児が3.4ポイント、年長児が6.1ポイントと、年齢が上がるごとに拡大している。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする (合計は含む)。

(表9)

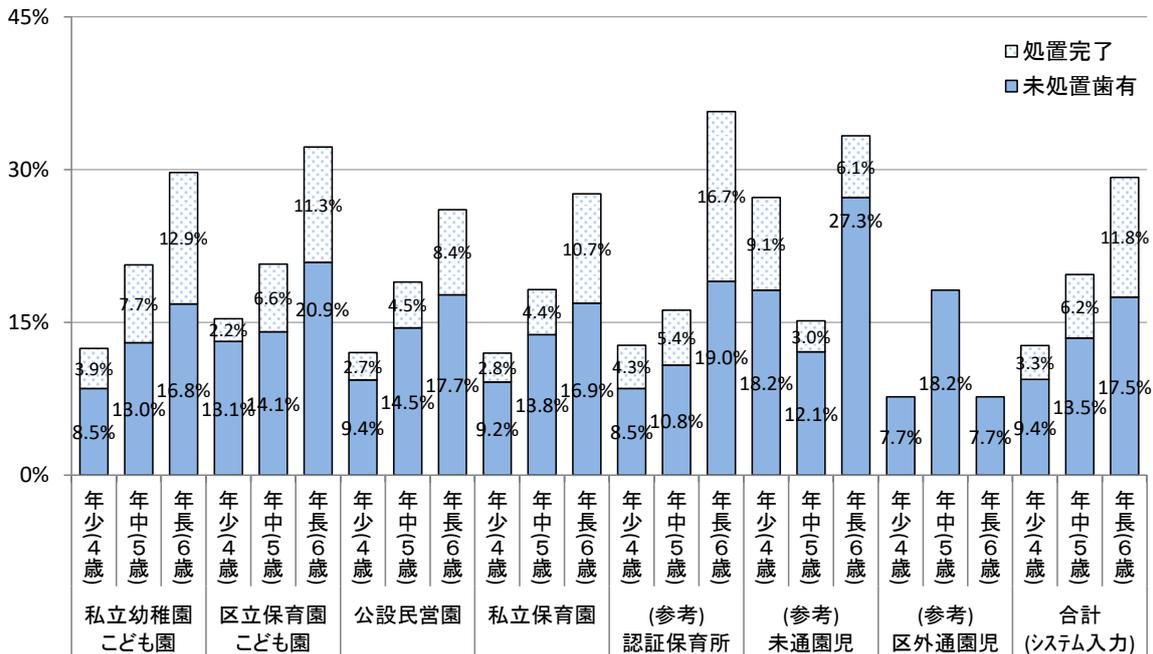
	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率 (R1年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R1年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R1年度)
私立幼稚園 認定こども園	2,113	263	12.4% (10.5%)	2,338	483	20.7% (20.4%)	2,532	753	29.7% (29.1%)
区立保育園 認定こども園	540	83	15.4% (13.3%)	603	125	20.7% (21.0%)	636	205	32.2% (36.1%)
公設民営保育園	299	36	12.0% (12.0%)	311	59	19.0% (17.3%)	299	78	26.1% (24.1%)
私立保育園	1,550	186	12.0% (10.1%)	1,563	285	18.2% (18.9%)	1,426	394	27.6% (28.0%)
(参考)認証保育所	47	6	12.8% (8.9%)	37	6	16.2% (34.0%)	42	15	35.7% (19.4%)
(参考)未通園児	44	12	27.3% (14.3%)	33	5	15.2% (26.3%)	33	11	33.3% (35.7%)
(参考)区外通園児	13	1	7.7% (23.1%)	11	2	18.2% (13.3%)	13	1	7.7% (46.2%)
合計 (R1年度)	4,606 (4,922)	587 (536)	12.7% (10.9%)	4,896 (5,004)	965 (1,001)	19.7% (20.0%)	4,981 (4,939)	1,457 (1,453)	29.3% (29.4%)

③ 未処置のむし歯(乳歯)がある子どもの割合（年齢別・施設種類別）

すべての年齢で、未処置のむし歯を有する子の割合が処置完了者を上回っている。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

(図10) 施設種類別 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

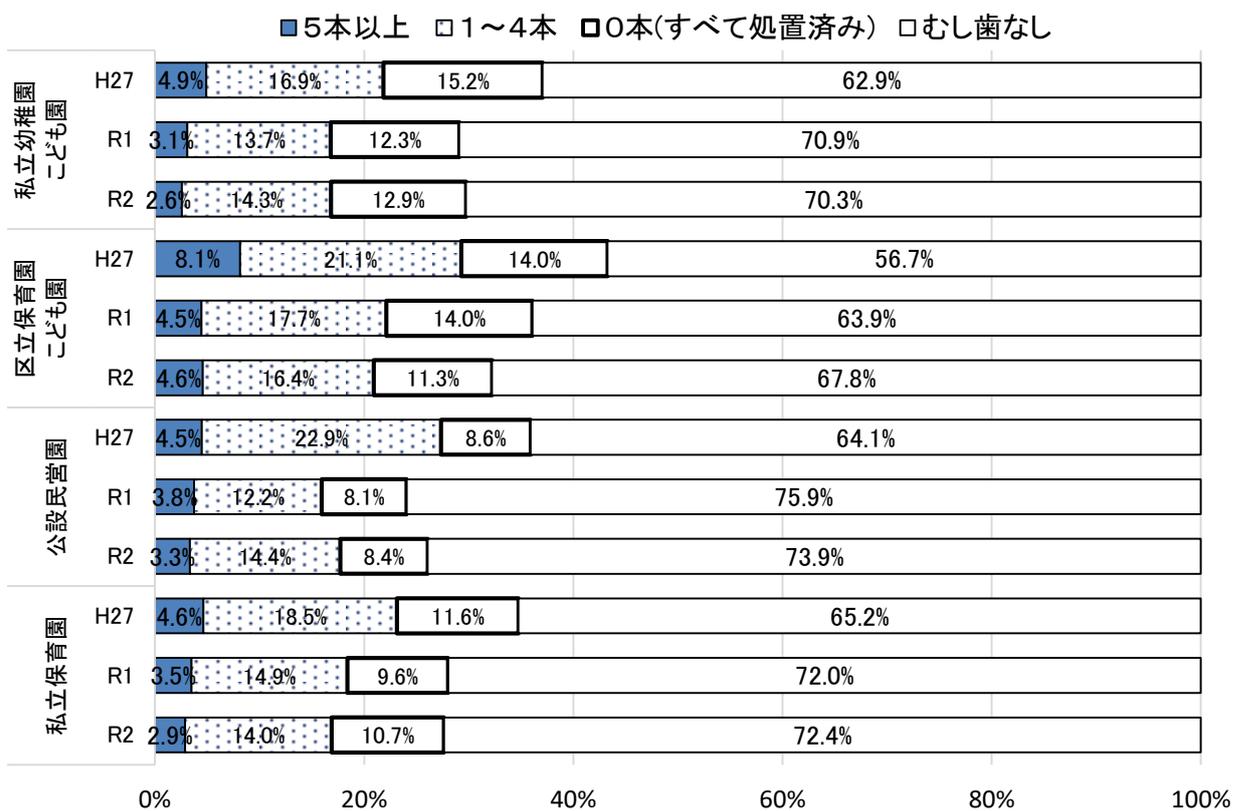


【参考】 元年度(合計)	処置完了率	年少	2.5%	年中	6.7%	年長	11.5%
	未処置有率	年少	8.4%	年中	13.3%	年長	17.9%

④ 施設種別・5本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合

年長児で、5本以上未処置のむし歯をもつ割合は、区立園を除き、減少している。

(図11) 施設種別・乳歯に5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R1・R2年度比)



⑤ 受診報告書の提出状況【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども（※1）に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が、教育・保育施設より受診報告書として提出されている（※2）。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している（※3）。

令和2年度における受診報告書の提出率の平均は69.5%で、元年度と比べて2.3ポイント減少した。

※1 未処置のむし歯(C)及びむし歯になりそうな歯(CO)がある、または歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども。

※2 概ね歯科健診から2か月程度経過した時点での報告率。

※3 未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする(合計には含む)。

(表 10)

	年少児（4歳）		年中児（5歳）		年長児（6歳）		合計(人数)			
	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (R1年度)	報告数 (R1年度)	報告率 (R1年度)	
私立幼稚園 認定こども園	465	272	653	420	814	494	1,932 (2,030)	1,186 (1,399)	61.4% (68.9%)	
区立保育園 認定こども園	129	89	158	113	206	163	493 (478)	365 (327)	74.0% (68.4%)	
公設民営保育園	64	49	89	72	100	86	253 (253)	207 (199)	81.8% (78.7%)	
私立保育園	304	234	371	284	442	350	1,117 (1,008)	868 (792)	77.7% (78.6%)	
認証保育所	9	8	9	9	15	10	33 (34)	27 (22)	81.8% (64.7%)	
未通 園児 等	未通園児	13	11	6	6	11	10	30 (33)	27 (19)	90.0% (57.6%)
	区外通園児	2	2	4	3	3	2	9 (15)	7 (8)	77.8% (53.3%)
合計 (R1年度)	986 (980)	665 (694)	1,290 (1,297)	907 (951)	1,591 (1,574)	1,115 (1,121)	3,867 (3,851)	2,687 (2,766)		
報告率 (R1年度)	67.4% (70.8%)		70.3% (73.3%)		70.1% (71.2%)		69.5% (71.8%)			

2 あだちっ子歯科健診の概要

(1) 目的

「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児(4歳)～年長児(6歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、こども園、幼稚園等が連携・協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防および早期の治療に繋がる取り組みを進めている。

【あだちっ子歯科健診のポイント】

- ① 統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

(2) 対象者
 通園の有無に関わらず、年少児(4歳)から年長児(6歳)、全ての幼児
 ※区内の保育施設、こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

(3) 実施方法および今後の目標

① 統一基準の歯科健診

足立区歯科医師会に委託(区立認定こども園のみ嘱託医)し、施設および会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

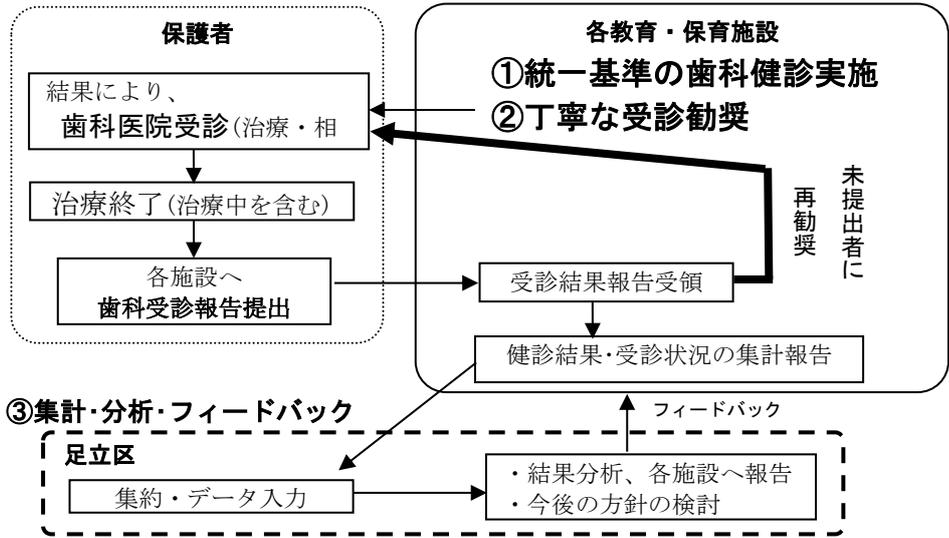
② 受診勧奨

各保育施設・こども園・幼稚園の協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもを減らしていく。

③ 結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報管理の適正な管理のもと足立区保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的な「歯・口の健康づくりの取り組み」を検討・実施する。

あだちっ子歯科健診フロー図



【問合せ先】

- あだちっ子歯科健診の実施に関すること
 足立区教育委員会子ども家庭部
 子ども政策課子ども施策推進担当 03-3880-5266
- あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること
 足立区衛生部データヘルス推進課
 多世代健康データ連携担当 03-3880-5601



区オリジナル・奥歯のはみがきキャラクター「おくぼちゃん」